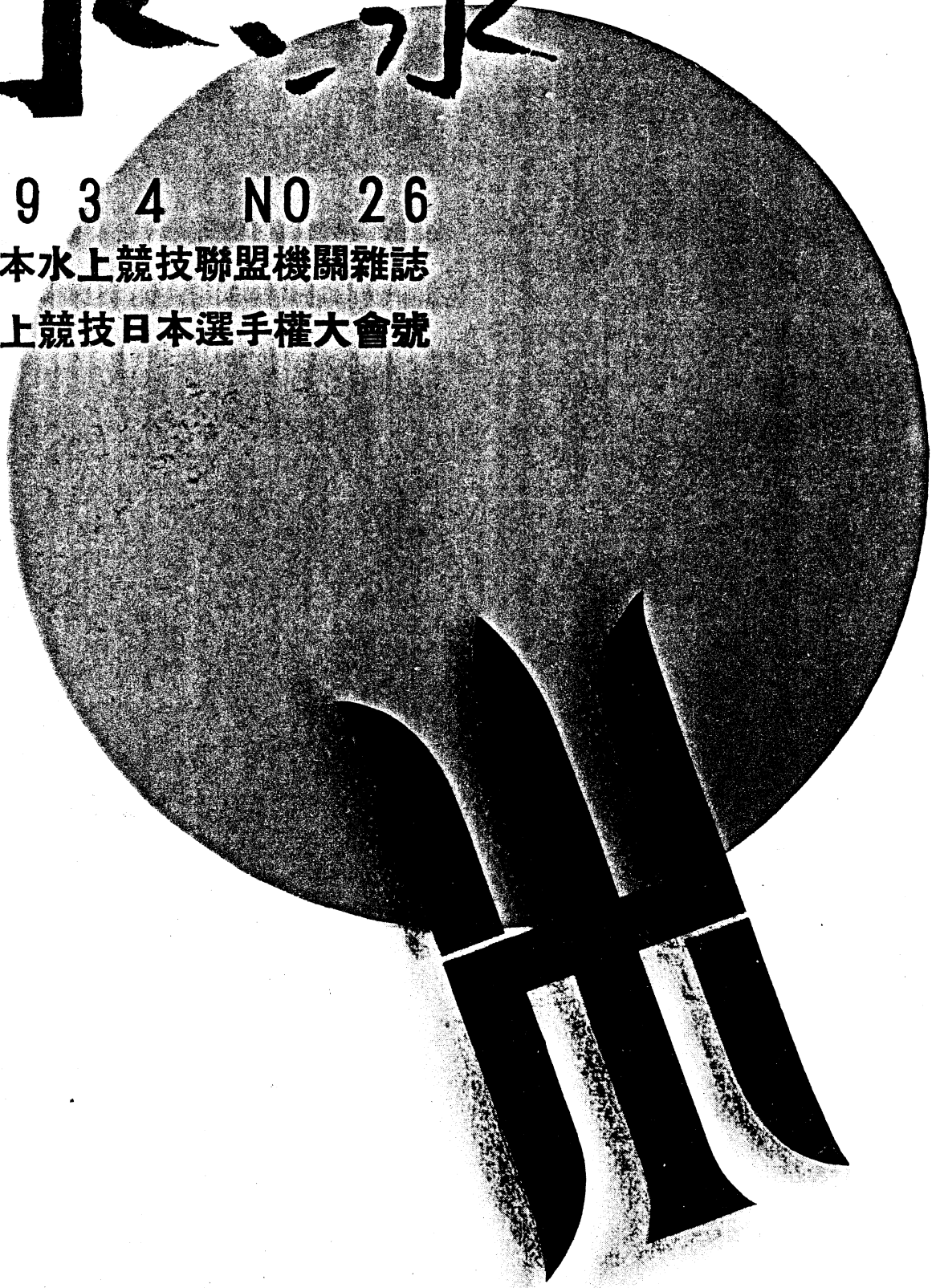


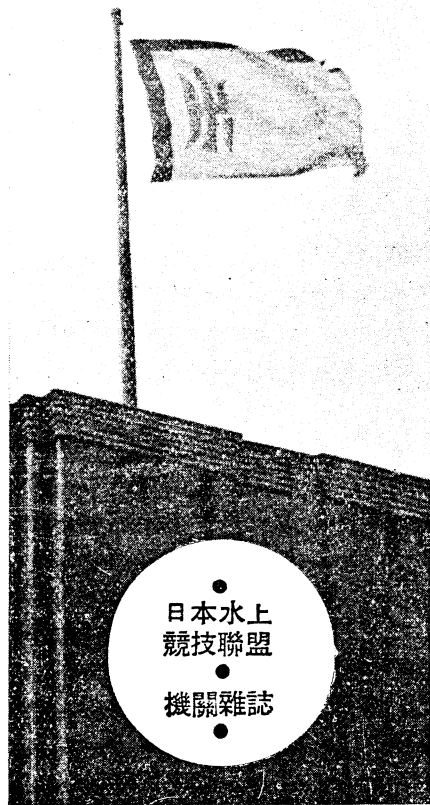
水泳

1934 NO 26

日本水上競技聯盟機關雜誌

水上競技日本選手權大會號





水 泳

NO 26

水上競技日本選手權大會號

目 次

昭和九年度選手權大會に際して……………	末弘巖太郎 (2)
本年度日本選手權大會概見……………	松澤 一鶴 (3)
本年度日本選手權獲得者氏名……………	(4)
競泳日本選手權大會經過記錄……………	宍道 洋一 (5)
競泳日本選手權大會を觀て……………	高石 勝男 (13)
消 息 欄……………	(15)
大會グラフ・大會點描……………	(16)
飛込競技日本選手權大會……………	島崎 保正 (18)
水球競技日本選手權大會……………	NBR 水球委員 (20)
「再び見る水泳日本」	
キツパス監督は語る……………	安部輝太郎 (23)
大澤保三郎先生を悼む……………	白山源三郎 (24)
昭和九年度日本選手權・地方豫選戰蹟……………	(25)
漫 錄 集……………	(29)
中等學校大會	
東部大會・西部大會・東西優勝校爭霸戰・東西選抜對抗戰	(30)
會 報 欄	
昭和九年度・定例代議員會議事録……………	(33)

表紙及題字 池田木一

漫畫 スギタ・サンタロ

注意 會報欄に本年度定例代議員會議事録あり、各加盟團體諸子に於かれては御注意を乞ふ。

昭和九年度選手権大會に際して

日本水上競技聯盟會長 末 弘 嚴 太 郎

吾々は全國各地の激烈なる豫選鬪争の難關を切り抜けて選出された榮譽ある多數優秀選手諸君の参加を得、更に遠く萬里の波濤を越えて遙々來朝されたアメリカ第一流の選手諸君の参加を得、一九三四年に於ける世界最高の水上競技大會としての日本選手権大會を茲に開催し得ることを心より喜び心密に誇るものである。此大會こそは其量に於ても又質に於ても現在地球上の他の如何なる點に於ても見ることの出來ない世界無比の最高競技會である。之を今日のあたり見ることが出来る吾々は幸福である。而して此幸福感が更に選手諸君の奮闘努力によつて現出される優秀な成績を見ることに依て層一層倍加されるであろうことを期待し又確信するものである。

さりながら眼の前の華々しさを享樂することのみが現在吾々の仕事でないことは言ふまでもない。ロサンゼルスのために苦心培養した花はもう咲かせるだけ咲かせ盡した残花は速に摘みとらねばならぬ。古枝は刈りとらねばならない。こうしてすべての注意を西に向けて、土を鋤き起せ、肥料を施せ、そして古い株に一層美しい花を咲かせ、新しい芽には更に一層美しい花を咲かせるやう、萬全の努力は一九三六年の爲めに集中されねばならない。今や我日本水上競技聯盟は此平和の戦の爲めに萬遺漏なき準備工作を續けつゝある。希くば觀衆諸君、諸君の熱意ある後援に依て我々の大業を十二分に成就せしめよ。

上文は八月十一・十二・十三日の競泳選手権大會のプログラムに掲載された末弘會長挨拶の辭であるが、本誌二十六號を選手権大會號となし茲に同文を更めて録し本號卷頭の言とする次第である。

本年度日本選手権大會概見

水泳界の日本一を決定すべき、昭和九年度の日本選手権大會は、今回より飛込、競泳、水球の各種目毎に日を別にして夫々滞りなく舉行された。競泳選手権大會の内容充實と共に、飛込、水球をば競泳と同時に舉行する事の困難を直接原因として積極的にも後二者の獨自の發達の爲を思ひ、競技進行及競技者參加の便宜をも考慮して試みられた此の方法は、實際に尙幾多の問題を含んでは居るが、今回の結果から見て恐らくは將來への重大な影響を齎すであらうと信ずる。

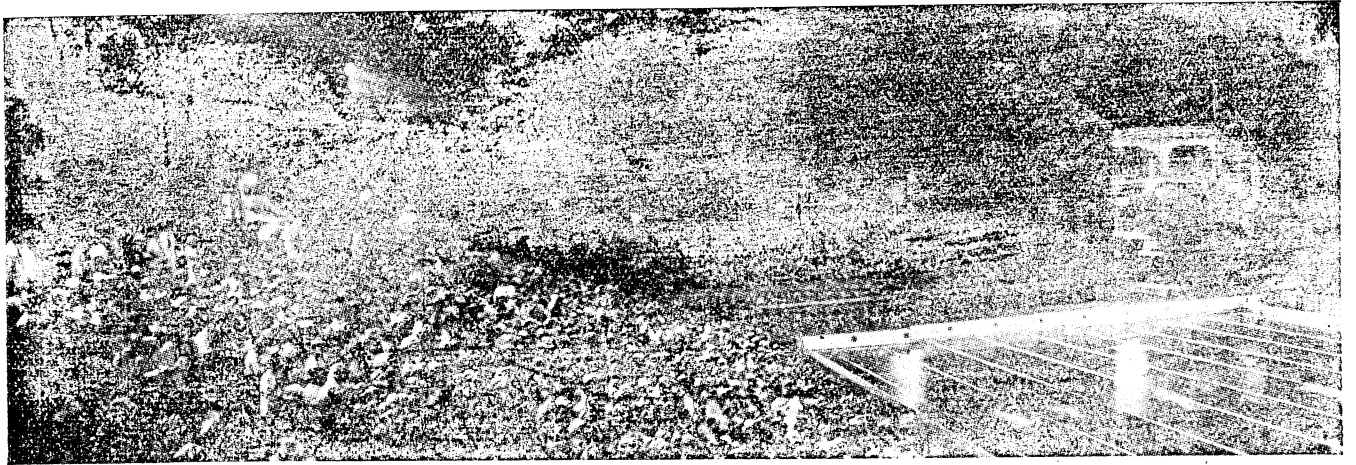
八月四日(土)五日(日)の兩日の晝間に明治神宮飛込プールに於て最初の獨立せる飛込競技日本選手権大會が行はれた。開催地の關係から何しても參加者が東京中心となつて居る事は已むを得ないが、然し此の現象は地方に選手が居るのに出場しなかつたと云はんよりは、依然として地方に飛込競技者の少い事に起因して居るのであつて、此の間に女子飛込の二選手権を關西に依つて占められた事は特筆するに足りるであらう。

天候を氣遣はれつゝ八月十一日(土)十二日(日)十三日(月)は選手権日和に美事に晴れた夜間競技として競泳選手権大會が行はれ、米國よりキツバス監督の率ゆるジャック・メデイカ、アート・ハイランド、ヴェンデ・ウエーの三君を迎えて緊張裡に終始した。経過及記録は別記の通りであるが、たゞ吾人の云はんとして欲する所は三人の少人數で來朝しながらも、コーチの監督を嚴守して米國選手権大會に於けるより以上の成績を示して我水上陣を脅かし三選手権を奪取し去つた彼等の奮闘に敬意を表すると共に、ベルリン・オリンピックを勝たんが爲には夙に羅府の勝利を忘れて精進し、常に我等より強き相手を求めて戒心しつゝある我水上競技聯盟の方針に對して有意義に善戦して呉れた事を感謝せんとする事である。更に彼等が短時日の滞在にも拘らず、此の間名古屋、奈良、京都、大阪の諸地方に於ても眞面目に演技若くは競技して各地に絶大な刺戟を残して呉れた事に對して更に謝意を深めるばかりである。

年毎に我等の競技を支持する觀衆が増加して今年も神宮プールの大スタンドを埋めた事もさりながら、殊に第三日には畏くも秩父宮及竹田宮兩殿下が何れも妃殿下と御揃ひにて御台臨を賜つた事はたゞ感激に堪えない所である。

たゞ此の間にあつて遺憾だつた事は我等の最も信頼する競技者諸君の内に、此の大切な時期に病氣若しくは身體の不調の爲に充分の實力を示し得ざりし事とその爲に意外な冷評を浴びた事である。事實此大會に調子を合せ得ずして思ふ様に實力を示し得なかつた事に對しては競技者も當事者も如何なる酷評にも甘んずべきであるが、たゞ今年の我が成績が歐洲乃至は米國の成績と比較して見てかゝる冷評に値するとは思はぬ、併し現在の我が水泳界として些少なりとも缺點あつての酷評であるを思つて來年豫定されて居る日米對抗水上競技その他主要な競技會に對する萬全の準備を今から怠つてはならぬ事だけは忘れてはなるまい。

競泳選手権に重任を果した競技者諸君が水球チームの主力に加つて、續いて八月十八、十九日の兩日に亘る水球日本選手権大會が神宮水泳場に開催された。確かに出場チーム數は舉行方法の變更に依り増加しては居るが、全國的未發達の現階程に於ては水球選手権大會舉行に數週を費す獨逸と比較せざる迄も前途未だしの感がないではなかつた。飛込競技と共に獨立して更に多難な前途を一層の努力を以て打開しなければならぬ事を痛感した。全般を通じて見るに從來より大なる規模に於て行はれた今年の選手権は更に將來の發展を暗示する所多きものを感じたがそのためには全水上競技界の一層の戒心と努力とを要求せられて居る事も明かな啓示であつた事を記して將來に備へやうではないか。(松澤 一鶴)



本年度日本選手権獲得者

男子競泳

100米自由形	遊佐正憲(日本大學)	0:59.0	100米背泳	Vande Weghe (米國)	1:08.8
200米自由形	遊佐正憲(日本大學)	2:17.4	200米背泳	Vande Weghe (米國)	2:33.2
400米自由形	Jack Medica (米國)	4:47.8	100米平泳	小池禮三(靜浦)	1:15.0
1500米自由形	根上博(聖ポール)	19:16.6	200米平泳	小池禮三(靜浦)	2:45.0
800米リレー	稲泳會(永見達明・志村義久・阪上安太郎・牧野正藏)				

女子競泳

100米自由形	鹽見梅子(椋山女學園)	1:16.4	100米背泳	小木曾治子(愛知淑徳)	1:37.0
200米自由形	小島一枝(椋山女學園)	2:51.0	200米平泳	前畑秀子(椋山女學園)	3:05.8
400米自由形	古田つね(中泉高女)	6:36.6	400米リレー	椋山女學園	5:22.4
			(鹽見梅子・前畑秀子・服部純子・小島一枝)		

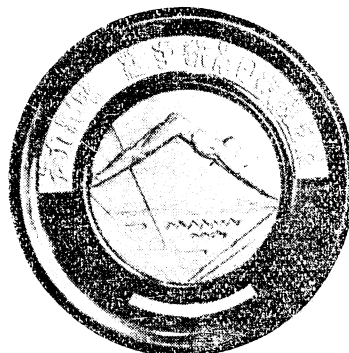
飛込競技

男子飛板飛込	柴原恒雄(日本大學)	125.68	女子飛板飛込	香野夫佐子(甲子園)	70.14
男子高飛込	原秀夫(昭和肥料)	89.06	女子高飛込	香野夫佐子(甲子園)	31.40

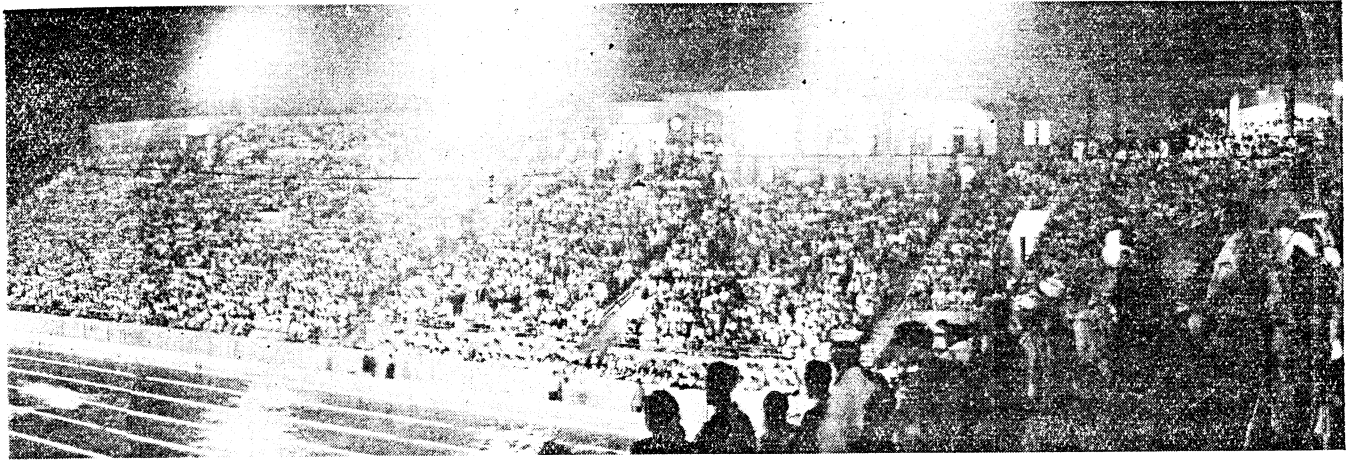
水球

稲泳會A組 (勝久重隆・高橋成夫・高木茂雄・阪上安太郎・志村義久・若山瀧美・古莊次平)

競技會當夜・日本年度日本選手権獲得の選手に授與されたトロフィー



構造社雨田三郎氏の製作に成る徑1尺2寸のレリーフ藝術味豊かなものであった。



昭和九年度競泳日本選手権大會

事實上本年度の世界選手権を争ふべき日本選手権競泳大會は米國三強豪の参加に依り更に數段の光輝をそへて八月十一日より三日間神宮プールにて舉行された。極東大會で期待した程の成績を挙げ得なかつたのはその原因が明確であるとしても水上日本を語るには何となく物足りなかつたことは争はれない。我々は此の不足を選手権に於て満すべく世界の第一線に立つべき選手諸君の奮闘を大に期待した。

競技の結果は以下の通りであるが昨年の花々しかつた大會に比べて内容に一沫の淋しさが漂つてゐることは否めない。世界新記録も根上の1000米のみであつたこと等、昨年の連続ヒットを思ふとき、米三選手の参加が大會の内容をどれだけ引上げたか分らない。併し世界選手権にもたとへるべき大會であつたことは事實である。以下は公式記録

男子100米自由形

豫選 (12日 午後 7.10)

- A. 1. Art Highland (米 國)——0:59.4
 2. 杉本 盛 (日本大學)——1:01.6
 3. 下平 登 (明治大學)——1:04.2
 (4) 壺田 重三 (京都武徳)——1:04.4
- B. 1. 高橋 成夫 (稻 泳 會)——1:01.4
 2. 平野 亮 (臺北一中)——1:02.6
 3. 樋口 榮一 (京都武徳)——1:02.6
 4. 鶴岡 榮 (聖ボール)——最優四等——1:02.8
- C. 1. 遊佐 正憲 (日本大學)——0:58.8
 2. 志村 義久 (稻 泳 會)——1:00.8
 3. 村田 匡男 (安房中學)——1:06.2
 (4) 池田 行雄 (野尻游協)——1:09.8
- D. 1. 坂上安太郎 (稻 泳 會)——1:00.6
 2. 新井 茂雄 (濱松農蠶)——1:01.6
 3. 田口 正治 (京都武徳)——1:01.6
 (4) 服部 京造 (横濱水協)——1:04.4

準決勝 (13日 午後 6.35)

- A. 1. Art Highland (米 國)——1:00.0

2. 坂上安太郎 (稻 泳 會)——1:00.2

3. 志村 義久 (稻 泳 會)——1:00.6

(4) 新井 茂雄 (濱松農蠶)——1:01.8

B. 1. 遊佐 正憲 (日本大學)——0:58.8

2. 高橋 成夫 (稻 泳 會)——1:00.4

3. 田口 正治 (京都武徳)——1:02.2

(4) 鶴岡 榮 (聖ボール)——1:02.6

決勝 (13日 午後 8.25)

1. 遊佐 正憲 (日本大學)——0:59.0

2. Art Highland (米 國)——0:59.0

3. 坂上安太郎 (稻 泳 會)——0:59.8

4. 高橋 成夫 (稻 泳 會)——1:00.2

(5) 志村 義久 (稻 泳 會)

経過——豫選に於て悔り難き實力を示した新人ハイランドに對して遊佐の取るべき當然の作戦とは言ひ乍ら、50米迄頭一つで追つて行つたことは経験のみから得られる貴いものである。折返後70で猛烈なスパートをを見せて遂にリードし乍ら昨年程の元氣がない彼が再び頭を並べてしまつたのは残念であるが致し方がなかつた。併しデットヒートを演じつつも、巧妙極りなきタツチに依つて、彼が優勝した時、オリムピックに於ける河石のそれと思合せて今更短距

離競技のタッチの重要さを痛感せざるを得なかつた。志村高橋は全く實力を持ち乍ら芽の出ぬ素材といはなければならぬ。殊に體力に於て恵まれた志村は早關戰で氣を好くした筈であつたが又々晴の舞臺で失敗したことは同君の爲日本短距離界の爲甚だ残念である、京都の田口はリレーの爲に棄權したのは、その結果から考へて寧ろ賢明な策であつたと言へやう。

男子200米自由形

豫選 (11日 午後 6.00)

- A. 1. 遊佐 正憲 (日本大學) 2:19.8
 2. 志村 義久 (稻 泳 會) 2:20.0
 3. 武村 寅雄 (明治大學) 2:21.0
 (4) 壺田 重三 (京都武徳) 2:24.4
- B. 1. 杉本 盛 (日本大學) 2:23.0
 2. 坂上安太郎 (稻 泳 會) 2:24.2
 3. 中村豊太郎 (中泉農業) 2:27.8
 (4) 平野 茂 (安房中學) 2:28.6
- C. 1. 杉浦 重雄 (見付中學) 2:19.0
 2. Art.Highland (米 國) 2:22.0
 3. 森原 幸彦 (日本大學) 2:22.8
 4. 鶴岡 榮 (聖ポール) 最優四等 2:24.2
- D. 1. 田口 正治 (京都武徳) 2:20.6
 2. 田端 三郎 (三田水泳會) 2:23.0
 3. 中村 強輔 (日本大學) 2:24.4
 (4) 河野 一民 (千葉中學) 2:35.4
- E. 1. 大横田 勉 (明治大學) 2:20.2
 2. 樋口 榮一 (京都武徳) 2:24.6
 3. 林田 義人 (京都武徳) 2:24.8
 (4) 新井 茂雄 (濱松農蠶) 2:26.4

準決勝 (11日 午後 9.00)

- A. 1. 杉本 盛 (日本大學) 2:20.6
 2. 遊佐 正憲 (日本大學) 2:20.6

3. 志村 義久 (稻 泳 會) 2:21.2
 (4) 武村 寅雄 (明治大學) 2:23.0
- B. 1. 杉浦 重雄 (見付中學) 2:19.4
 2. 坂上安太郎 (稻 泳 會) 2:19.6
 3. 田口 正治 (京都武徳) 2:20.4
 (4) 大横田 勉 (明治大學) 2:20.6

決 勝 (12日 午後 9.25)

1. 遊佐 正憲 (日本大學) 2:17.4
 2. 田口 正治 (京都武徳) 2:18.6
 3. 杉浦 重雄 (見付中學) 2:20.4
 (4) 杉本 盛 (日本大學) 2:20.4

遊佐のラツプタイム 50 27.8 10) 1:01.4

經過—— 200は近來にない不出來であつた。20秒を切つたものは僅に4人、而も優勝せる遊佐の記録が2:17.4ときいてはオリムピック當時2:14.6が4人も揃つたことを考へると今昔の感に耐へない。決勝では遊佐が猛烈に飛出して、巧く逃げこんでしまつたが志村、坂上、杉本等の強豪連を軽く抑へて遊佐に迫つた新人田口の奮闘は、三着に落ちたとはいへ新進氣鋭の意氣を見せた杉浦の躍進と共に買はねばなるまい。杉浦は中等學校大會で疲れたせゐか、記録が次第に落ちて行つたのは惜しいが準決勝のレース振りの如きは實に堂々たるもので、將來を思はせるに充分であつた。

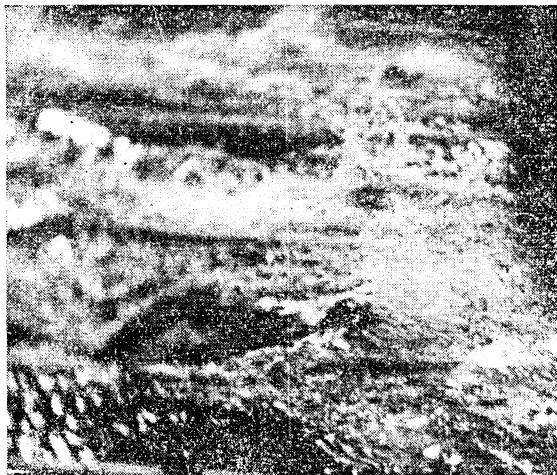
男子400米自由形

豫選 (12日 午後 6.00)

- A. 1. 牧野 正藏 (稻 泳 會) 5:01.8
 2. 石原田 愿 (明治大學) 5:04.8
 3. 寺石 延也 (京都武徳) 5:09.6
 (4) 岩崎 三郎 (聖ポール) 5:21.4

ラツプタイム 1:11.4 (石原田) 2:28.6 (以下牧野) 3:46.0 (正式)

- B. 1. 根上 博 (聖ポール) 4:52.0
 2. 田端 三郎 (三田水泳會) 5:10.6
 3. 武村 寅雄 (明治大學) 5:12.4



←100米決勝のタッチ上より阪上ハイランド遊佐の三者殺到

善戦敗れて悔なきハイランド君 100米決勝直後 →

Photo Asahigraph



Photo Asahigraph

- (4) 森原 幸彦 (日本大學)——5:13.2
 ラップタイム (根上) 1:06.4 2:21.6 3:36.6 (正式)
 C. 1. 寺田 登 (見付中學)——5:07.0
 2. 市村 敬吾 (野尻游協)——5:08.2
 3. 寺崎 一夫 (關東學院)——5:10.8
 4. 中村豊太郎 (中泉農業)——最優四等—5:12.8
 ラップタイム 1:10.6 (寺田) 2:29.4 (中村) 3:49.8

- (寺田) 正式
 D. 1. 本田惣一郎 (聖ボール)——4:58.6
 2. Jack Medica (米 國)——5:01.8
 3. 永見 達明 (稻 泳 會)——5:03.0
 (4) 隈元 正賢 (明 大)——5:16.6
 ラップタイム 1:09.6 (永見) 2:25.4 (本田) 3:42.6
 (本田) 正式

準決勝 (13日 午後 6.00)

- A. 1. 牧野 正藏 (稻 泳 會)——4:57.4
 2. 石原田 愿 (明治大學)——4:58.0
 3. 本田惣一郎 (聖ボール)——5:01.2
 (4) 市村 敬吾 (野尻游協)——5:07.6
 ラップタイム 1:09.8 (本田) 2:26.8 (本田) 3:43.8
 (本田) 正式

- B. 1. 根上 博 (聖ボール)——4:49.0
 2. Jack Medica (米 國)——5:00.4
 3. 寺田 登 (見付中學)——5:01.8
 (4) 永見 達明 (稻 泳 會)——5:01.8

決 勝 (13日 午後 8.00)

1. Jack Medica (米 國)——4:47.8
 2. 牧野 正藏 (稻 泳 會)——4:49.0
 3. 根上 博 (聖ボール)——4:59.2
 (4) 石原田 愿 (明治大學)——4:55.2
 ラップタイム メデイカ 1:03.2 2:17.8 3:33.2 (正式)

經過—— 前日の1500の決勝では根上に飛出されて面喰つたらしいメデイカが此所ではその裏を行つて機先を制した策戦は、蓋し本大會の白眉であつた。100 では 1:03.2 といふ流石のタリスも顔負けのする様な飛出し戦法で根上牧野をリードし、200 300 とずつと先頭をつどけ最後には牧野に少しつめられたが結局4米の差で快勝した。我々は此の飛出し戦法でロスアンゼルスに於て既にやられてゐる。此所に再び同様の失敗を繰返してしまつた。彼メデイカが我が中距離に残し去つた波紋は可成り大きいと同時に、これだけでも今回の米選手來襲の意義が達せられてゐると思ふ。新人根上も古豪牧野の奮闘も空しく消えたが、此の敗戦に依つて與へられた貴き經驗を思へば彼等も以て慰むるに十分であらう。

此の種目に於ては第一戦に立つべき新聞、片岡、横山の稻泳軍を始め北村、堀の中等學校連の参加がなかつたにも係らず三着迄50秒を切つてゐる状態である。蓋し世界一のレースと言へやう。

新人寺田もよく頑張つて5着に喰ひ込んだ、牧野といふ大物を先輩に持つ彼だけに今後の進歩が期待される。

男子1500米自由形

豫 選 (11日 午後 7.35)

- A. 1. 根上 博 (聖ボール)——19:16.8
 2. 永見 達明 (稻 泳 會)——20:28.6
 3. 那須田 清 (中泉農業)——20:58.8
 (4) 隈元 正賢 (明治大學)——21:05.8

根上のラップタイム 1:08.0 2:22.8 3:38.6 4:55.6 6:13.4
 (非公式日本新記録) 7:32.0 8:50.6 10:09.4 11:28.4
 12:46.0 (正式) 14:04.6 15:23.0 16:41.8 18:00.4

- B. 1. Jack Medica (米 國)——19:50.0
 2. 石原田 愿 (明治大學)——20:16.8
 3. 寺田 登 (見付中學)——20:29.2
 (4) 市村 敬吾 (野尻游協)——21:00.6

ラップタイム (メデイカ) 1:11.2 (石原田) 2:30.4 (以下



Photo Asahigraph

←400米に
 氣を吐いた
 メデイカ君
 獨得の力泳
 振り



戦前控室に
 於けるメデ
 イカ・ウエ
 ー君 →

Photo Asahigraph

メデイカ) 3:49.8 5:09.6 6:29.6 7:49.8 9:09.6 10:30.0
 11:50.2 13:10.4(正式) 14:30.4 15:51.2 17:12.2 18:33.2
 C. 1. 本田惣一郎 (聖ポール)——19:40.4
 2. 牧野 正藏 (稲泳會)——19:53.8
 3. 寺崎 一夫 (關東學院)——20:58.6
 (4) 桑野 正實 (日本大學)——21:39.2
 ラップタイム (本田) 1:08.6 2:25.8 3:43.8 5:02.6 6:21.2
 7:40.6 9:00.4 10:20.4 11:40.6 13:00.2(正式) 14:19.6
 15:40.4 17:00.4 18:21.4

決勝 (13日 午後 8.00)

1. 根上 博 (聖ポール)——19:16.6
 2. 牧野 正藏 (稲泳會)——19:28.6
 3. Jack Medica (米 國)——19:32.8
 (4) 本田惣一郎 (聖ポール)——19:33.4
 (5) 石原田 愿 (明治大學)——(19:57.5)
 (6) 永見 達明 (稲泳會)——(20:01.6)
 (7) 寺田 登 (見付中學)——(20:30.8)
 (8) 那須田 清 (中泉農業)——(20:38.2)
 (9) 寺崎 一夫 (關東學院)——(20:38.4)
 根上のラップタイム 1:07.4 2:21.6 3:37.6 4:54.2 6:12.2
 (非公式日本新記録) 7:29.2 8:46.4 10:04.2 (非公式世界
 新記録) 11:22.6 12:41.8 (世界新記録) 14:01.4
 15:19.8 16:39.2 17:58.8

経過——根上の1500に於ける此の素晴らしき活躍を夢想した者が果して居たらうか、彼の好調は傳へられて居たが此れは寧ろ400であつて1500は本田、牧野、メデイカの争ひであり根上は此につよく者と見られて居た。彼がボルグも及ばぬラップを示してどんどん飛出して行つたときは全くはらはらしたが1000米を過ぎても依然衰へず遂に泳ぎ切つてしまつた時は世界記録を破らなかつた等との不足は全く言へなかつた。恐らくメデイカも此んな所に大敵が居やうとはレースの始まる迄思はなかつたに違ひない。

又既に中距離の人である牧野が敢然踏止つてメデイカに應戦して此れだけの成績を示したのは牧野に於て始めて出

来る事であらう。本田も奮闘よくメデイカと競り1450米でリードし乍ら最後の50でしてやられた。極東大會での苦き経験を又嘗めさせられた彼の心に考ふべき所であらう。八着におちたとは云へ最後迄よくつとめた可れんな那須田少年の活躍も又水泳日本の大きな誇りであり、寺崎の意氣と共に賞すべきものである。

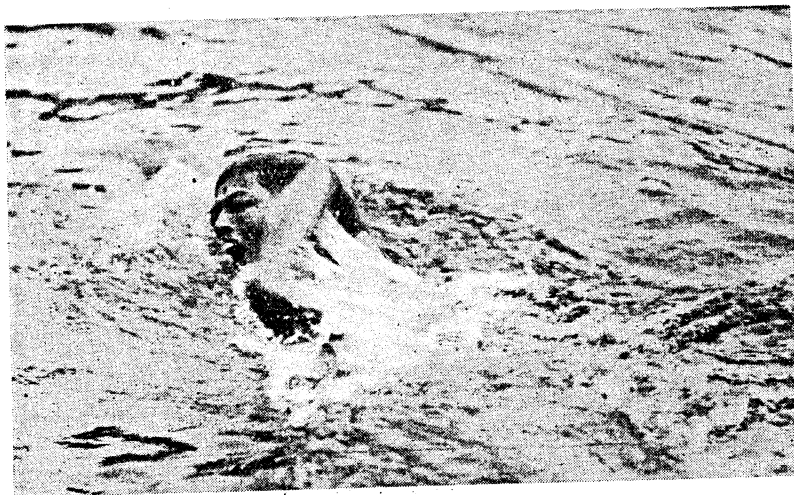
男子100米背泳

豫選 (11日 午後 6.35)

A. 1. 入江 稔夫 (稲泳會)——1:13.8
 2. 河野 隼 (明治大學)——1:16.2
 3. 井上賛次郎 (三田水泳會)——1:17.2
 (4) 細谷 定一 (中央大學)——1:17.8
 B. 1. 清川 正二 (東京商大)——1:13.4
 2. 谷口 辰三 (稲泳會)——1:16.0
 3. 山田 薫 (明治大學)——1:16.4
 (4) 田中 滋二 (銚子青年)——1:18.4
 C. 1. 河津憲太郎 (明治大學)——1:13.0
 2. 吉田 喜一 (佐伯中學)——1:13.4
 3. 松下 信一 (聖ポール)——1:17.4
 (4) 渡部 卓一 (三田水泳會)——1:18.8
 D. 1. Vande Weghe (米 國)——1:11.4
 2. 勝久 重雄 (稲泳會)——1:13.4
 3. 明 文一 (小松商業)——1:13.8
 4. 下田 利弘 (鹿本中學)——最優四等1:17.0

準決勝 (11日 午後 9.15)

A. 1. 吉田 喜一 (佐伯中學)——1:13.0
 2. 河津憲太郎 (明治大學)——1:13.2
 3. 入江 稔夫 (稲泳會)——1:14.4
 (4) 谷口 辰三 (稲泳會)——1:16.0
 B. 1. Vande Weghe (米 國)——1:09.8
 2. 勝久 重隆 (稲泳會)——1:12.8
 3. 明 文一 (小松商業)——1:13.0



← 1500米に於ける本田



力泳よく榮冠を得せしめた根上→

(4) 清川 正二 (東京商大) ———— 1:13.6

決勝 (12日 午後 6.40)

1. Vande Weghe (米 國) ———— 1:08.8
2. 吉田 喜一 (佐伯中學) ———— 1:11.6
3. 勝久 重隆 (稻 泳 會) ———— 1:13.4
- (4) 河津憲太郎 (明治大學) ———— 1:13.4

経過—— 全種目中此れ程番狂はせなものがあつたらうか
 ヴェンデ・ウェーが素晴らしい快記録で選手権を持つて行
 つたのは兎も角、御大清川が準決勝で落ち様とは！ 獨逸の
 キュツペルス衰へず、此所に新強豪ウェーの出現を目のあ
 たりみて日章旗3本を挙げた背泳だけに前途多難の感が深
 い併し我々は清川、河津、入江を押し退けたのはウェーのみ
 でなく新人吉田、明、勝久の3人であることを思ふとき又新
 しき希望に燃ゆる者である。吉田は昨年あたりから頭角を
 現した九州の一中學生であるが、試合度胸もよく體も出來
 てるからペースさえ覚えれば次のオリムピックに一旗舉
 げるのも無理な事ではない。決勝のとき田畑氏が吉田に
 「頼むぞ」と言はれたのを見た時、日本の背泳界も變つたな
 と思はざるを得なかつた。

男子200米背泳

豫選 (12日 午後 8.25)

- A. 1. 河津憲太郎 (明治大學) ———— 2:45.0
2. 松下 信一 (聖ポール) ———— 2:45.4
3. 山田 薫 (明治大學) ———— 2:45.6
4. 下田 利弘 (鹿本中學) — 最優四等 2:47.8
- B. 1. 吉田 喜一 (佐伯中學) ———— 2:41.6
2. 谷口 辰三 (稻 泳 會) ———— 2:44.6
3. 小川 年男 (茨城中學) ———— 2:51.4
- (4) 渡部 卓一 (三田水泳會) ———— 2:54.4
- C. 1. 明 文一 (小松商業) ———— 2:43.4
2. 清川 正二 (東京商大) ———— 2:46.0

3. 田中 滋二 (銚子青年) ———— 2:51.4
- (4) 松橋 正己 (野尻游協) ———— 3 01.4
- D. 1. Vande Weghe (米 國) ———— 2:40.8
2. 河野 隼 (明治大學) ———— 2:46.6
3. 秋吉 龍二 (日本大學) ———— 2:47.8
- (4) 井上賛次部 (三田水泳會) ———— 2:53.2

準決勝 (13日 午後 6.50)

- A. 1. 吉田 喜一 (佐伯中學) ———— 2:39.6
2. 河津憲太郎 (明治大學) ———— 2:40.4
3. 清川 正二 (東京商大) ———— 2:44.2
- (4) 松下 信一 (聖ポール) ———— 2:45.8
- B. 1. Vande Weghe (米 國) ———— 2:39.4
2. 明 文一 (小松商業) ———— 2:42.4
3. 谷口 辰三 (稻 泳 會) ———— 2:43.8
- (4) 河野 隼 (明治大學) ———— 2:44.8

決勝 (13日 午後 8.35)

1. Vande Weghe (米 國) 長水路世界新 2:33.2
2. 吉田 喜一 (佐伯中) ———— 2:37.2
3. 河津憲太郎 (明治大學) ———— 2:41.2
- (4) 明 文一 (小松商業) ———— 2:43.0

経過—— ウェーが長水路世界新記録で優勝した。餘りに
 強過ぎたと諦めるより仕方はないが、それにしても清川、河
 津の不調は嘆かましい。新人吉田が昨年の清川級の記録を
 出して2着になつたことや、その名も始めてきく谷口が決勝
 に残つたこと、明が此所に練習不足にも係らず元気で清川
 を抑へたこと等、背泳戦線は全く混亂に陥つてしまつた。

男子100米平泳

豫選 (11日 午後 6.55)

- A. 1. 葉室 鐵夫 (日本大學) ———— 1:17.0
2. 高畠 秋介 (三田水泳會) ———— 1:20.4
3. 山田 拓平 (聖ポール) ———— 1:22.2



← 背泳日
 本のトリオ
 崩れる時新
 人光る吉田
 喜一

200米背泳
 に於けるウ
 ェー君 175
 米遠 →

Photo Asahigraph

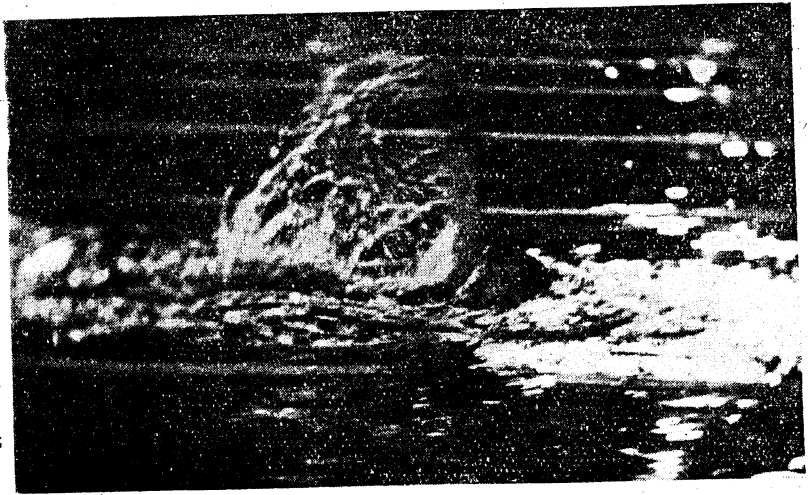


Photo Asahigraph

男子200米平泳

- (4) 河俣 正 (桃山中學)——1:24.8
- B. 1. 小池 禮三 (靜浦游協)—日本新—1:14.6
 2. 岡田 達男 (日本大學)——1:17.4
 3. 川澄 仲三 (沼津商業)——1:20.8
- (4) 奥山 昶 (京都武徳)—最優四等—1:21.8
- C. 1. 長久 俊三 (三田水泳會)——1:18.0
 2. 奥藤 修 (明治大學)——1:18.2
 3. 杉浦 武雄 (聖ポール)——1:21.8
 4. 柳澤榮三郎 (法泳會)——1:22.4
- D. 1. 伊藤 三郎 (明治大學)——1:19.6
 2. 中川 重雄 (振甫クラブ)——1:19.8
 3. 筒井八男治 (聖ポール)——1:21.4
 (4) 錦織 晋 (安房中學)——1:25.2

準決勝 (11日 午後 9.45)

- A. 1. 葉室 鐵夫 (日本大學)——1:17.0
 2. 長久 俊三 (三田水泳會)——1:18.6
 3. 奥藤 修 (明治大學)——1:19.0
 (4) 川澄 仲三 (沼津商業)——1:21.6
- B. 1. 小池 禮三 (靜浦游協)—日本對—1:14.8
 2. 岡田 達男 (日本大學)——1:18.8
 3. 伊藤 三郎 (明治大學)——1:19.6
 (4) 中川 重雄 (振甫クラブ)——1:19.6

決 勝 (12日 午後 7.00)

1. 小池 禮三 (靜浦游協)——1:15.0
 2. 葉室 鐵夫 (日本大學)——1:16.0
 3. 岡田 達男 (日本大學)——1:17.8
 (4) 長久 俊三 (三田水泳會)——1:18.0

経過——小池の泳ぎは昨年より稍亂れた様に見受けたが元氣一杯に泳いで日本新記録を作った。

葉室は100ではまだまだ小池の敵ではないが昨年よりはずつと進歩した。長久、伊藤の擡頭を喜ぶたい。

豫 選 (12日 午後 9.05)

- A. 1. 小池 禮三 (靜浦游協)——2:49.0
 2. 伊藤 三郎 (明治大學)——2:54.8
 3. 長久 俊三 (三田水泳會)——2:55.0
 4. 筒井八男治 (聖ポール)—最優四等—2:56.4
- B. 1. 葉室 鐵夫 (日本大學)——2:49.4
 2. 川澄 仲三 (沼津商業)——2:58.8
 3. 山田 拓平 (聖ポール)——3:02.4
 (4) 伊藤喜代志 (振甫クラブ)——3:02.8
- C. 1. 中川 重雄 (振甫クラブ)——2:50.6
 2. 杉浦 武雄 (聖ポール)——2:57.4
 3. 高島 秋介 (三田水泳會)——2:58.0
 (4) 古莊 次平 (稻泳會)——3:01.2
- D. 1. 岡田 達男 (日本大學)——2:56.6
 2. 奥藤 修 (明治大學)——2:59.0
 3. 宮本 正男 (和歌商)——3:08.0
 (4) 松村 義誠 (千葉中學)——3:18.8

準決勝 (13日 午後 7.20)

- A. 1. 小池 禮三 (靜浦游協)——2:46.6
 2. 岡田 達男 (日本大學)——2:54.6
 3. 筒井八男治 (聖ポール)——2:55.2
 (4) 杉浦 武雄 (聖ポール)——2:55.6
- B. 1. 葉室 鐵夫 (日本大學)——2:49.8
 2. 中川 重雄 (振甫クラブ)——2:50.6
 3. 伊藤 三郎 (明治大學)——2:54.2
 (4) 長久 俊三 (三田水泳會)——2:54.6

決 勝 (13日 午後 8.55)

1. 小池 禮三 (靜浦游協)——2:45.0
 2. 葉室 鐵夫 (日本大學)——2:45.4
 3. 中川 重雄 (振甫クラブ)——2:48.8



Photo Asahigraph

← 100米
平泳決勝ゴ
ール間際の
小池、斷然
強し

200米平泳
で小池を脅
かした葉室

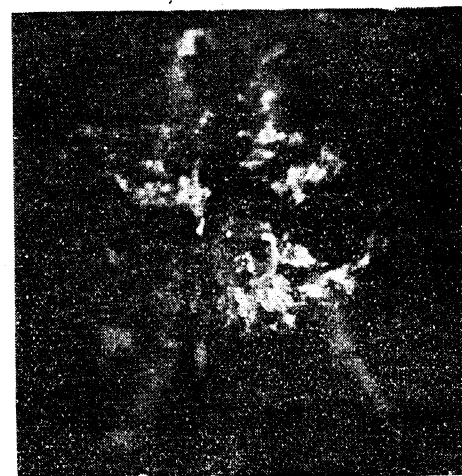


Photo Asahigraph

(4) 伊藤 三郎 (明治大學)——2:52.6

経過——葉室の擡頭と中川の返り咲きは接戦を思はせたが果然葉室は50. 100. 150とトップを切り中川又150迄よく小池につき面白いレースとなつた。併し150で小池は鮮なスパートを見せて170で追ひつき1米餘りの差をつけて優勝した。小池に対して葉室の取つた作戦は成功しなかつたが賢明なやり方であると共に、小池の消極的戦法に一轉換を與へる動機となるのではなからうか。中川は名古屋で只獨り調子を作つて大會に参加したが2:48.8の好記録を作つて目覺しい返り咲きを示した。伊藤も豫選準決と次第に好記録を作つて行つたのは近來にない愉快事である。好調を傳へられた岡田は案外奮はず六等におちてしまつたのは高島、柳澤、奥藤の不元氣と共に惜まれる。

男子800米リレー決勝(13日午後 9.15)

1. 稻 泳 會——9:15.0
(永見達明、志村義久、坂上安太郎、牧野正藏)
 2. 明 治 大 學——9:25.0
(片山兼吉、石原田愿、武村寅雄、大横田勉)
 3. 京 都 武 德 會——9:31.0
(樋口榮一、田口正治、寺石延也、林田義人)
 - (4) 聖 ポ ー ル——9:31.0
(根上 博、田野耕清、鶴田 榮、本田惣一郎)
- 根上の正式計時は 2:15.8

女子100米自由形

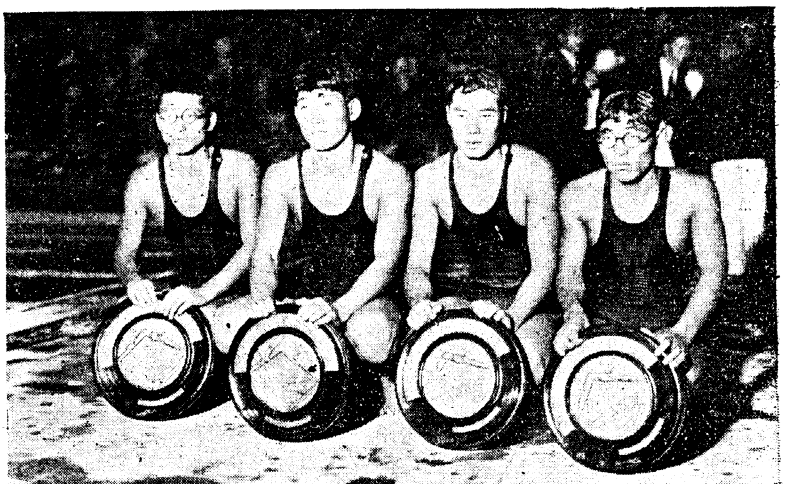
豫 選 (11日 午後 7.00)

- A. 1. 横井 キヌ (京二條女)——1:19.6
2. 須藤 光代 (横濱一女)——1:22.6
- (3) 小木曾治子 (愛知淑徳)——1:23.4
- (4) 立松 品子 (椋山女學園)——1:28.8
- B. 1. 小島 一枝 (椋山女學園)——1:16.2
2. 渡部こまつ (愛知淑徳)——1:20.4



←女子200米自由形スタート直後

800米リレー優勝游泳會チーム(永見・志村・阪上・牧野) →



3. 谷口美代子 (京二條女)——最優三等 1:21.6

(4) 太田 隆子 (府立第六)——1:24.4

C. 1. 鹽見 梅子 (椋山女學園)——1:17.6

2 増山 ちせ (平塚高女)——1:23.0

(3) 櫻井 アイ (京二條女)——1:24.0

(4) 河原 靜枝 (京二條女)——1:27.2

決 勝 (12日 午後 8.55)

1. 鹽見 梅子 (椋山女學園)——1:16.4

2. 小島 一枝 (椋山女學園)——1:17.0

3. 渡部こまつ (愛知淑徳)——1:19.4

(4) 横井 キヌ (京二條女)——1:19.6

女子200米自由形

豫 選 (13日 午後 6.20)

A. 1. 鹽見 梅子 (椋山女學園)——2:58.6

2. 古田つね子 (中泉高女)——3:00.0

3. 渡部こまつ (愛知淑徳)——3:03.0

(4) 河村 靜子 (横濱一女)——3:06.2

B. 1. 小島 一枝 (椋山女學園)——2:54.4

2. 古閑 久子 (中京高女)——3:03.8

3. 木全美佐子 (愛知淑徳)——3:11.0

(4) 須藤 菊代 (横濱水協)——3:16.4

決 勝 (13日 午後 8.15)

1. 小島 一枝 (椋山女學園)——2:51.0

2. 鹽見 梅子 (椋山女學園)——2:59.8

3. 古田 久子 (中京高女)——3:03.0

(4) 渡部こまつ (愛知淑徳)——3:04.8

女子400米自由形

豫 選 (11日 午後 9.25)

A. 1. 古田つね子 (中泉高女)——6:41.2

2. 北島 靜子 (椋山女學園)——6:43.0

3. 古閑 久子 (中京高女)——6:43.2

- (4) 石井 トシ (京二條女)——6:52.4
 B. 1. 太田 隆子 (府立第六)——6:37.6
 2. 竹村 令子 (京都武徳)——6:43.4
 3. 河村 静子 (横濱第一)——6:44.2
 (4) 木全美佐子 (愛知淑徳)——6:50.0

決勝 (12日 午後 6.00)

1. 古田つね子 (中泉高女)——6:36.6
 2. 河村 静子 (横濱一女)——6:38.8
 3. 北島 静子 (椋山女學園)——6:42.6
 (4) 竹村 令子 (京都武徳)——6:44.2

300 正式計時、古田 4:52.8

女子100米背泳

豫選 (13日 午後 7.05)

- A. 1. 小木曾治子 (愛知淑徳)——1:30.2
 2. 小田アイ子 (筑紫高女)——1:32.4
 3. 泉 百合子 (京府二女)——1:33.6
 (4) 北島 静子 (椋山女學園)——1:35.6
 B. 1. 菱木ふさ子 (京府二女)——1:35.2
 2. 時田 静子 (愛知淑徳)——1:37.8
 3. 古田ますゑ (中泉高女)——1:42.2
 (4) 増山 ちせ (平塚高女)——1:43.4

決勝 (13日 午後 8.15)

1. 小木曾治子 (愛知淑則)——1:30.0
 2. 小田アイ子 (筑紫高女)——1:33.0
 3. 泉 百合子 (京府二女)——1:34.2
 (4) 時田 静子 (愛知淑徳)——1:36.8

女子200米平泳

豫選 (11日 午後 8.45)

- A. 1. 前畑 秀子 (椋山女學園) **日本新 3:04.8**
 2. 中村 芳江 (京府二女)——3:26.6
 3. 杉倉 愛子 (椋山女學園)——3:29.2

- (4) 齋藤 房江 (泳道普及會)——3:45.0

- B. 1. 壺井宇乃子 (京都武徳)——3:24.0
 2. 眞下 京子 (京二條女)——3:25.4
 3. 柳瀬 しづ (筑紫高女)——3:30.2
 (4) 片桐津多子 (椋山女學園)——3:40.0

決勝 (12日 午後 7.30)

1. 前畑 秀子 (椋山女學園)——3:05.8
 2. 壺井宇乃子 (京都武徳)——3:22.8
 3. 眞下 京子 (京二條女)——3:25.6
 (4) 中村 芳江 (京府二女)——3:26.8

女子400米リレー決勝

1. 椋山女學園——5:22.4

(鹽見梅子、前畑秀子、服部柁子、小島一枝)

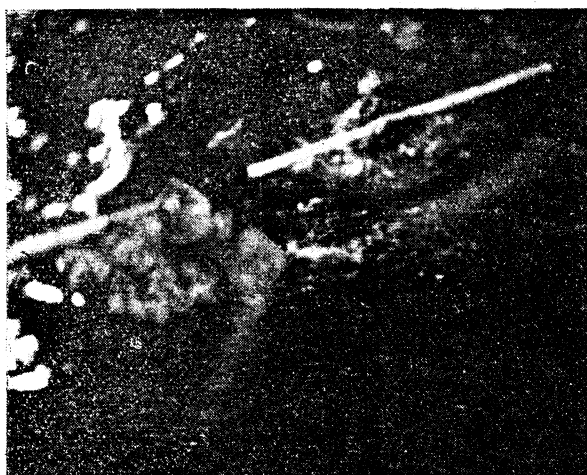
2. 京都二條高女——5:36.8

(櫻井アイ、谷口美代子、石井トシ、横井キヌ)

3. 愛知淑徳高女——5:41.6

(小木曾治子、時田静子、木全美佐子、渡部こまつ)

總じて女子は不振であつた。前畑・小島は別として守岡荒田・横田等の引退後、此に代るべき新人の出ないのは全く淋しい。昨年第一線に踊り出た年少鹽見は100で先輩小島を押へて選手權を奪つたのは、たとひ小島が花を持たせにしても、大に賞讃すべきである。あれて體が出来て肩の落ちがなくなつた時こそ注目すべきであらう。小島は相變らずよい泳ぎを見せてゐるが強い相手がないのが氣の毒である。400では新人古田が優勝したが、デン・ウーデンが5:16.0で泳いだのを聞いては餘りに懸隔が大きすぎる、背泳の小木曾の優勝はともかく、泉、小田の進出は、御大前畑の舊に倍する躍進と共に喜ばしき限りである。併し歐洲にはエンゲルマン・ゲネンゲル・ヘルツナー等前畑級の猛者が十指に餘る程居るから、油断はならない。願はくは前畑をして十分に活躍させ得る後進の一日も早く現れんことを希望する。
 (宍道記)



hoto AsanigraphP

← 日本新記録を出して依然元氣な前畑 200米平泳75米遊



女子 400 リレー優勝椋山女學園子

競泳日本選手権大會を觀て

高 石 勝 男

今春甲子園プールで行われた極東大會の合宿練習申既に幾多の好記録が作られた事から割出して今夏の我が選手の活躍はさこそと大きな期待を懸けてゐた然るに案に相違してマニラの遠征から歸つて以來所々で行はれた對校レース其の他すべて意外に悪い結果が報ぜられて近年にない沈滞した雰圍氣の中に六、七の兩月が濟んで了つた。殊に遊佐、清川、牧野、北村等我々が最も多く期待した中心となるべき選手のスランプは大きな不安を我々の上に投げかけた。漸く本大會を目前に控へて行われた地方豫選並に東西中等學校大會に活躍した新勢力が加へられ且つアメリカ選手の來朝に刺戟されてやゝ常態に近づき多少不安も薄らいだとは云へ一掃する迄には到らなかつた。

斯くの如く日本選手のコンディションは久し振りに來朝したアメリカの精銳を迎へるには餘りにもお粗末なものであつた。

戦前の一般の豫想を書いて見るならば1500米は如何にメデイカが奮戦しても北村、牧野、本田、根上等多士濟々の我が堅壘をおとし入れる事は萬々なからうと云ふ考へ方が多かつた様である。

唯レース直前に北村君の出場不可が發表され我が選手側の力が幾分そがれたきらいはあつたが尙豫想は變更されなかつた。400米はメデイカの最も得意とするレースであり賢明なるキツパスは必ず望の薄い1500米は最初から捨て、こゝにメデイカの全力を集中せしめる策戦に出るに違ひない従つて此のレースは或はメデイカに幾分有利なのではなからうかと考へられた。日本選手中メデイカに對抗出来るものは僅かに牧野一人だが如何なる場合でも確實に而も必ず成功する丈の底知れぬ力を持つてゐる牧野に頼る氣持が手傳つてうまく行けば必ずしも捨てたものではないとの淡い希望は残されてゐた。200米は問題なしとして100米はハイランドの實力もはつきり知る事が出来ず又回復したと傳へられる遊佐もどの程度に元氣を取り戻したのか地方豫選では800リレーのアンカーをつとめた丈でその記録も非常に悪かつたとのみでこれ亦はつきりせず、従つて戦前

の豫想はまちまちであつた。背泳は100米200米共に大接戦が演ぜられるが結局は多勢の我が選手側に軍配があがるのではなからうかと云ふ豫想が、レースが近づくにつれてウエーの練習中の力が認識されて彼が我々の想像以上の實力を持つ容易ならぬ強敵であると云ふ考へ方に變つて來た様だつた個々の選手権争奪が主眼であるこ競技會も日本選手が各種目に亘つて非常なピンチに見舞れた事から俄然日米對抗意識が濃厚となり一般の興味は個々の勝敗と云ふよりも寧ろ総合的に日本勝つか、アメリカ勝つかと云ふ點に置かれた感があつた。

戦前の豫想はこれに止め各レースの模様について記す事とする。

100 米 自由 形

憂鬱なスランプに悩んでゐた遊佐も昨年程の元氣はないがかなり調子を取り戻して居て豫選・準決勝共に獨り58秒8の好記録で泳ぎこの調子では先づ彼の優勝は確實であると思われたがハイランドもさすがアメリカ代表の名に恥ぢず豫選では59秒4と云ふ之亦立派なレコードを出し遊佐に迫つた。この二人を除けば他には60秒以内で決勝に進んだものはなく結局選手権を争ふものは遊佐かハイランドかと云ふ事になつた。

遊佐に昨年様な元氣さがあつたなら恐らく久し振りに手剛い相手を得て彼のストロークも一層馬力づけられたであらうが如何せん彼程のつは者もこの時許りは相當自信を失つてゐたであらう之に反してハイランドは元より敗れて悔なき相手であり背水の陣を敷いて乗るかそるかの氣持でレースに望む事が出来るであらう。不幸にしてこの兩者の精神的に受けるハンデキャップが豫選に於ける $\frac{3}{5}$ 秒の開きをプラス、マイナスすれば決勝戦は恐らく互格よりも寧ろ遊佐に不利な争ひが我々の前に展開されるのではないかを恐れた。

この我々の豫想が當つて決勝レースは火の出る様な接戦が演ぜられた。スタートするやハイランド特有のスプリントでトップを切り遊佐、志村が之に續

き坂上は25米邊でハイランドに殆んど一挺身近く後れて居た。其のまゝの情勢で50米のターンをし遊佐が急にピッチを上げハイランドにせまり75米邊では約1米近く先じたその頃より坂上がグングン出て来てハイランドに1米邊迄迫つて来た。餘す處15米邊より急に遊佐のスピードが衰へ出したに乘じハイランド必死の力泳物凄く遂に兩者の手先が並行した、あと10米・5米依然として變らない遂にフィニッシュ、幸にして遊佐のタッチよく僅かに間髪を容れない際どい處で遊佐の勝利に終つた。1.2着共に59秒0の同レコードであつた。

ハイランドは稀に見る整つたフォームの持主で上體を非常に浮かせて泳ぐあの方法はワイスミラーに影響されてゐるものと考へられる。彼が驚くべきスプリントを出し得るのもあの泳法の然らしむる處であつて同時に彼が200米に無慘の敗北を喫したのも同様である。其の邊について今少し研究を積んだなら實に末恐ろしい選手となる事が出来るであらう。

200 米 自 由 形

遊佐の不調と相俟つて新聞、横山を始め中距離選手の中心をなす顔觸れの缺場に依つてこのレースは何の興味もない大穴となつて了つた。豫選決勝を通じて2分20秒を切つて泳いだもの僅かに4名とは實に情けない有様で800米リレーに8分58秒4の超人的記録を出した當時の面影何處にありやと云ひ度い位だつた。

400 米 自 由 形

メデイカはこのレースは最初から必勝を期して居たらしくスタートするやピッチをあげ前半にうんと日本選手を引き離し其儘逃げ込む策戦に出でた、これはロスアンゼルスオリンピックに於てクラブのとつた苦肉の策戦であつてクラブはうまうまとこれに依つて成功したのだつた。

メデイカの策戦再び圖に當つて前半の200米では懸命に追ふ根上を離す事4米近く牧野は尙それより僅か乍ら後れて了つてゐた。其の後牧野、根上の奮戦も折角短縮した距離もターン毎に開き返され300米邊では根上が尙2米牧野は3米以上後れてゐた。最後のラップとなりメデイカ美事なラストスパートを出し遂に根上の追従を許さなかつた、あと20米邊りよりそれ迄後れてゐた牧野急にピッチをあげ根上を抜き今少しの處までメデイカに迫つたが遂に及ばずメデイカに名をなさしめて了つた。牧野が今少し早くラスト、スパートに移つて居たらと誰もが考へ

て居たであらうと思われる。それにしても實に着實に己れの力を知つて泳いでゐる牧野があの失敗を演じたのは彼も亦日頃のないスランプで自信を失つてゐたものと解される。ロスアンゼルスに破れ今亦敗戦の憂目を受けた我が中距離はいつになれば幸運に遭遇する日が来るのであらうか。

前二回の敗戦の原因を検討して見るならば結局400米は200米の延長であつて1500米を短かくしたのではないと言ふ事が明かとなつた。それには先づそれに適した泳ぎ方を用ふる事が先決問題である。今日まで我が選手が探つて来た前半は力をセーブして後半に重きを置く泳法では日本選手同志でレースする場合は良い記録が得られたとしても一朝ベースの違ふ外人と對戦する場合非常に不利である事が之に依つて明かとなつた。今後は此の點に留意して平素から中距離レースに適したベースを選手に體得させる事が何より大切である。それには是非共中距離専門の選手を養成しなくてはならない。1500米と兼攝の選手に頼つてゐる間はいつまでたつても先づ成功は望めないだらう。

1500 米 自 由 形

豫選を通過して決勝に残つた顔觸れは大體豫想通りで其の何れを見ても錚々たる選手許りであつた。決勝では最初より根上斷然トップを切りそれに牧野メデイカ本田の順でそれに續いた。豫選に19分16秒8の好記録を出した根上君益々好調で800米邊りまでは懸命に追つた牧野も多少疲勞が現れもう根上の優勝は決定的なものと思はれた。メデイカも1000米近くまでは牧野に迫つて居たが力盡きてか後れ出し續く本田に追われ出し遂に1400米でこの兩人が並行し最後のターンでは逆に本田が1米餘リードしたが結局スプリントのあるメデイカに再び抜き返されて惜敗した。

他のレースが意外に覇氣のないレースで終つた中にこの1500米丈は各選手の努力に依つて寧ろ我々の豫期以上の成果を収める事が出来た。一着の根上より五着の石原田まで總てが20分を切るの好記録を出し六着の永見が僅か1秒餘りでこの列に入れなかつた恐らくこんな粒の揃つたレースは未だかつてなかつたであらう。

殊に好漢根上の活躍は實に素晴しく豫選決勝と連続的に19分16秒臺の好記録を出し其の副産物として1000米に12分41秒8と云ふ本年度唯一の輝ける世界記録を造り上げた。彼のこの偉大なる働きに依つてスランプのどん底に喘ぎつゝある我が水泳界の面目

を維持する事が出来たと云つても過言ではあるまい。

背 泳

我が國のナンバーワンを以て自他共に許してゐた清川を始、彼と共にオリンピックに全勝の榮ある記録を残した入江、河津揃つて昔日の面影なく100米背泳では清川も遂に準決勝に4着となり落選の憂目にさらされた。之に反してウエーの出來は素晴しく何の味氣もなく100米200米共に壓倒的に彼に選手權を奪はれて了つた。

唯僅かに新進吉田の擡頭に依つて希望をつなく事の出來たのは不幸中の幸運であつた。

平 泳

小池を除いては2分50秒を確實に切つて泳ぐものなく他の種目に比べて最も歩調の後れてゐた平泳も葉室の進出に依つて非常に強味を益す事が出来た。100米ではまだ力のない葉室は小池の敵ではないが200米では過ぐる地方豫選で2分44秒4の好記録を出して以來相當自信を強めたらしく150米まで小池をリードし175米邊では1米餘り抜き返されたが最後までねばり強く追つて其の差を縮め僅かに $\frac{2}{5}$ 秒の差で敗れた。而し乍らたとへ好機を逸したとは云へこれに依つて益々自信をかためる事が出来たであらうと思はれる、今後一層の自愛と活躍を希望して止まない。以上を以てレースの経過を終る事とする。

今回來朝したアメリカ選手はさすが現在アメリカを代表するだけあつて何れも我々の豫期以上の實力を發揮した。日米の成績を比較すれば100米200米及1500米自由形の三選手權を我が國に400米自由形

100米及200米背泳の三選手權をアメリカに各々三つづゝの選手權を獲得した事となる。之をオリンピック種目のみ採擇すれば二つ宛の選手權を分割した結果であつた。我が選手が如何に惡いコンディションにあつたとは言へ僅か三名の少人勢であるアメリカチームに引掻き廻され、どうひいき目に見ても明らかに我が選手の敗戦であつた。

彼等の活躍振りに依つてアメリカが次のオリンピック目指して如何に努力しつゝあるかの片鱗をうかがふ事が出来た。今回の日本選手の不振は決して無理からぬ事で誠に同情すべき點が數々ある。其の主なるものはマニラ遠征であつた。本大會に活躍を期待される程の選手は殆んどすべてマニラ遠征チームに加わつてゐる。昨年のシーズンを終へて普通ならば今年のシーズン開けまで靜養する時に連續して練習を強いられた。其の上氣候不順のマニラで一仕事果して歸朝して以來寸時も憩ふひまなく働かされた、人間の體力には限りがある。

丁度この大會の頃は選手の大部分が疲勞のどん底にあえいでゐる時であつた。その選手に再び大きなレースに出場を強ひる事が既に酷なのであつて、いわんや勝利を期待する事は最初から無理なのである。其の歴然たる證據は本大會に活躍した人々例へば根上、吉田等は今春の極東オリンピックの豫選に洩れ涙をのんだ人々で其の時の災、轉じて今回の榮冠を勝ち得る原因となつたのを見ても明かである。

従つて日本選手今回の不振に對しては同情すべき點はあるとしても之を以て選手を責める事は差し控へるべきである。

このレースに依つて日本の選手がアメリカは油斷のならぬ相手であると言ふ自覺を體得したならばこの企が益々有意義なものとなる次第である。(完)

● 消 息 欄 ●

今年の選手權大會には、久しく滿洲へ行つて居られた鶴田義行君が久し振りで顔を見せ、本年度より制定された200米平泳鶴田紀念トロフィーを同種目に優勝した、善き後繼者であり又よき戦友であつた小池禮三君に自ら手渡された——渡す鶴田と受ける小池—水泳日本でのみ見られる麗はしい情景であつた。鶴田君の消息に就ては早耳の消息子でさへ遂に聞漏してゐたが同君は渡滿と同時に縁あつて布池昌子さんと榮燭の典を擧げられ今では令嬢滿智子さんの善きパパとして、お勤めも今度名古屋市役所水道課に就任され、名古屋市西區押切町6ノ11に住居された。

轉居通知 巍齋藤洋氏は豊島區池袋3ノ1400に、松浦武夫氏は同池袋3の1629に移轉され。

水球の時任巖氏は大連滿鐵本社より奉天滿鐵地方事務所に轉勤された旨通信があつた。

本誌「水泳」の編輯主任として久しい間讀者諸子と御馴染だつた鶴岡英吉氏は今般、日獨文化協會より獨逸ライプチヒ大學に行かれる事となり十月五日照國丸にて神戸出帆された。

本聯盟外國關係委員安部輝太郎氏は丸ノ内東洋プロック會社にお勤めであつたが今般同社の支店が滿洲に新設される事となりその初代支店長に榮轉されて近々渡滿の筈。

選手権大会・點描

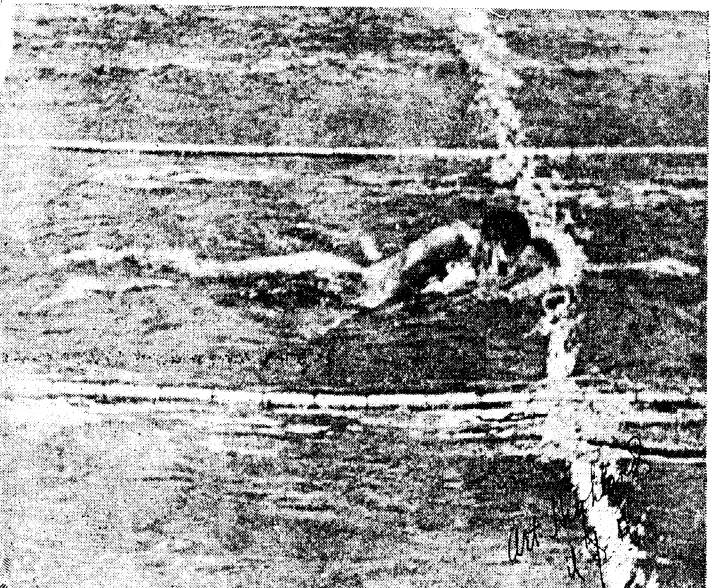
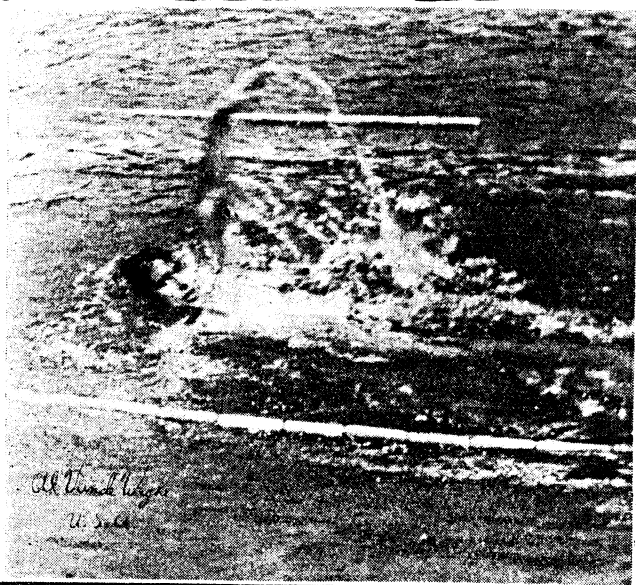
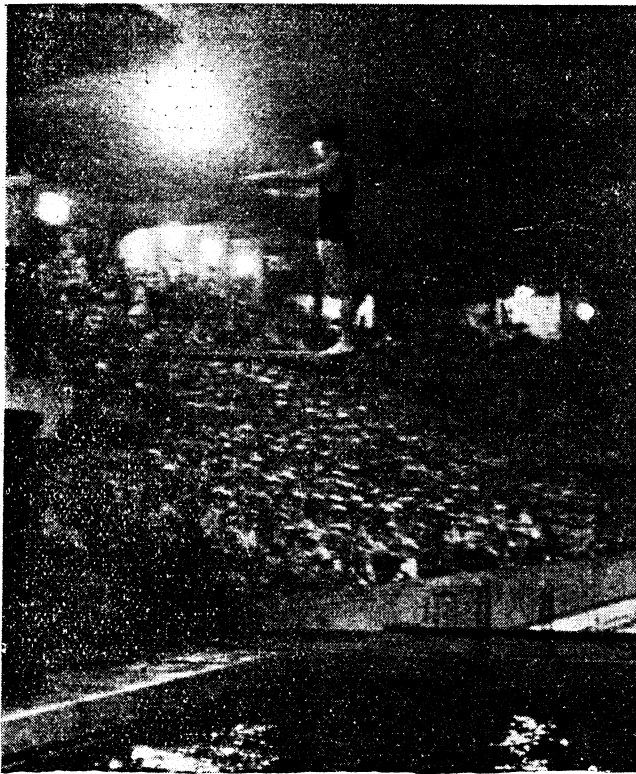
●漆黒の闇をフラッドライトでクツキリ照し出された瑠璃色のプールは黒天鷲絨につままれたエメロードとでも詩人ならば言ふであらう——水泳日本のNO・Iを決する日、遙々遠征の米國三強を迎へて羈を決する夜、戦前摺鉢の様なスタンドにギツリ詰め掛けた觀衆は今に目前に展開する自熱の戦を心に描きながら、白いコースを張られて漣一つ立たない紺碧のプールを見つめ、時々無数の白い扇が待ち兼ねる様にハタハタと閃いて、しばしのしじまを守つてゐる。

●末弘會長と杉村大使——昨年の選手権大会に牧野君が世界記録を作つたタンに見事椅子をツブして了つた偉大な體軀の持主杉村陽太郎大使が今年も競技開始と同時に役員席に現れ末弘會長と見事なコントラスト振りを發揮された、末弘會長がまづ招じて曰く『ようこそ、今年の椅子は丈夫なのですから、ごゆるりと』杉村大使『ヤア、ヤア』とばかり偉大な苦微笑を以て挨拶を交されてゐた。

●高石、鶴田兩君の紀念トロフィー——日本水泳史上に大きな二つの足跡を印して引退された高石、鶴田兩君の偉業を紀念して、本年度より100米自由形に高石、200米平泳に鶴田の兩紀念トロフィーを制定され、彫刻家日名子實三氏に依頼中であつたが競技會當日やつと力作成つて審判臺に運び込まれた兩トロフィーは高石君と鶴田君の水着姿の上半身像を配したブロンズの美事なレリーフであつた。更に上方に銘記して

競技會當夜、青の光をぬつて夢の様に美しかつた飛込エキジビション

練習中ヴェンデ・ウエー君のフォーム



200米平泳優勝の小池君・鶴田紀念トロフィーを手渡されて

練習中のハイランド君のフォーム

会場・あちらこちら

「後より来る若き人々よ、
高石の偉業をして永遠ならしめよ、
努力せよ、高石を遥して高石の上に
而して世界水準の上に。」

(二個同文異名)と彫まれて居る。世界水泳界の最前線を走り続けた此の兩先輩がよき後繼者に『確り頼む』と渡された繼走のバトンこそ此のトロフィーである。

高石、鶴田君の手より本年度該種目優勝者遊佐・小池君に授與される姿は昭和九年度選手権を飾る意義深いものであつた。

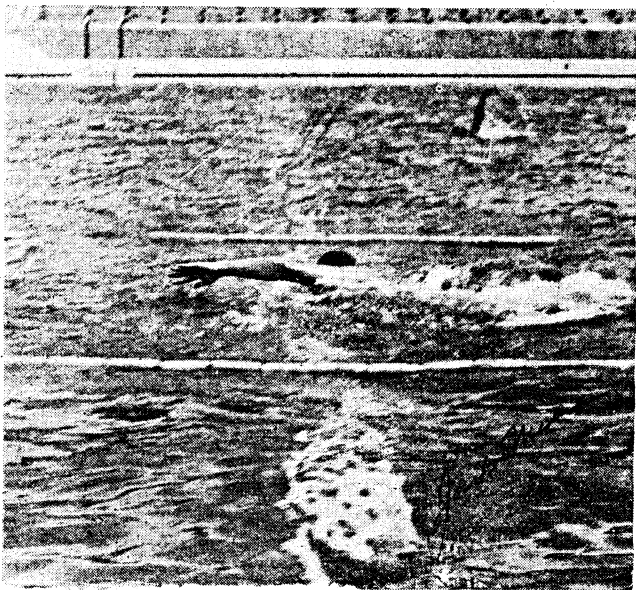
●千五百米でスタートするやメデカ・牧野・本田を遙かしりえに従へて、青の光と水を白く飛沫に掻き分けて弾丸の様に轟進する根上の力泳には満場驚異の目を見張つて湧き返つた。プログラムに載せられてゐるホルグのラツプを遙に凌いで四百・五百と頑張り続け、千米では遂に 12:41.8 の世界記録を出した。幾萬の目は根上の力泳に吸付けられプールを往復し、『千五百米世界記録！ 打倒ホルグ！』の氣持よいアナウンスを觀衆も役員も齊しく期待したが千米後のラツプタイム悪く、遂に昨年逸したホルグの記録を今年も惜しくも逸して了つた。残念ではあるが根上君はよくやつて呉れた19:16.6のアナウンスを聞いた時には觀衆一萬五千のホット言ふ吐息をハナキリ耳にした。一萬五千人の吐息、それは水泳日本への深い期待と支持の聲である。

吾々は世界中で最も力強い觀衆を持つ事を泌々と感じた事であつた。

百米自由形優勝の遊佐君 高石君のトロフィーを前にして



男子飛込州優勝者柴原君(左) 同高飛込優勝者原秀夫君(右)



練習 中メデイカ君のフォーム獨特の手の入れ方



100米自由形決勝に0:59.0で殆ど同着だった遊佐君とハイランド君顔を見合す

飛込競技日本選手権

島 崎 保 正

昭和九年度の飛込競技日本選手権大會は競泳大會に先ち八月四五の兩日に涉つて行はれた。殆ど風がなく時々薄日のさすやうな飛込に取てはコンディションのよい日であつた。今年の新しい試みである競泳、水球との分離については可成り杞懼を抱いて居たのであるが兩日共飛込プールに略一杯の觀衆を得た事は我々にとつて非常な喜びであつた。それよりも何より都合のよい事は飛込競技に最も具合のよい時間を自由に取る事が出来た事である。之れは昨年迄の無理に都合つけた時間の間に辛うじて競技を行つたのに比較して雲泥の相違で實に伸び々々として充分に競技が出来るやうになつた。たゞ一つ遺憾であつた事は各地方の加盟團體の役員諸氏に此の眞剣な競技會を見て戴く機會に乏しくなつた事である。之れは競泳と同日に行へば競泳の序であらうとも本式の飛込競技を見られる機會は多かつたであらう。現在の日本の飛込は東京大阪を中心として餘りに集中して居る點から見ても他の地方の方々が大いなる飛込の競技會を見てその地方の飛込の發達に資され度いものと思ふ。此の點に於ては幾分今年度の試みは研究不充分的點があつた。明年から更に一考を要する事である。

新しい試みの第二は全日本的の初等飛込競技會を同日に行つた事である。飛込競技に於て選手権種目を全部飛びこなせる迄には中々の時日を要するのであるから、それ迄に初等・中等の競技を設けて適當に指導して行く事は有力なる後繼者を作る上から極めて必要なことは言ふ迄もない。今年度の競技規則には此の規定が明瞭に掲げられたので特に奨励の意味を以て行つたのである。之れには參加者が東京近傍に止つたので全日本的競技として立派さはなかつたが將來を期したいと思ふ。此の競技はその本來の意味から考へても大いに地方的大會を盛にして戴きたいものである。

飛込の技術的方面から見ると今年の大會は相當注意しなければならない。昨年度から新しくなつた規定飛は恐らくは各競技者共にマスターしたであらう

が今年新しく加へられた難易率の高い飛込をどう選擇飛に活用するであらうかは甚だ興味のある事であつた。確かに個々の飛込は昨年迄に比べると遙かに確實と成つて來たし飛込に立派な解釋を與へて之れを示して呉れた者も可成り見受けられた。之れを具體的に云へば踏切に對する留意が深くなつた事宙返りが確實になり且つ廻轉が速くなつた事及び入水に對する態度が確りして來た事等を擧げる事が出来やう、飛込をやる以上當然な條件ながら昨年迄は一般の傾向として是等を擧げるには幾分躊躇しなければならなかつたのに今年は競技者の技術が明瞭に之れを實際に示すだけに進歩して來たばかりでなく更に優秀な飛込に於ては見る人に迫る力が出て來た事である。

日本の飛込は先進國の飛込に追ひ付く爲めに出来るだけ審判員の心理的弱點をついて止むを得ず高點を出さすやうな飛込に巧みになつて來てゐるたし今もその傾向はある。従つて全體を通じて技が小さくその癖特に減點することの出来ないやうな妙にいちぢけた飛込が多かつたのである。之れは飛込の本道でないことは明で今數歩を進めて積極的に人に迫る飛込を示さなければならぬことはよく判つてゐながら之れを表すには技が不足であつた。所が今年の飛込を見ると此の點の打開に向つて一步を進めて居り、又實際にその結果が表はれて來てゐるのである。此の傾向は一般に之れから益々強くなる事は明かで今年の飛込の最大の收穫であらう。

さて選手権として争はれた競技の詳細な記録は別表の通りであるが各種目に就いての感想を述べやう

男子の飛込に於ては前に述べた積極的の飛込が明かとなつて來てゐる、殊に飛板飛込に於て著しい。此の種目に參加した人は12名であつたが大體三つの群となつて争覇して居つた。第一位の柴原及之れに次いだ原秀、原酉の三者の間には恐らくは競技當日のコンディションによつて勝敗が決する位しかの差がないであらう。結果から見れば柴原は規定飛第一にリードしたまゝ最後まで首位を續けてゐるが原秀

との得点の差は合計に於て0.38の少差であるし原秀と原西とは僅かに1.10の差の接戦を行つて居る。柴原の第二及第四群即後踏切飛の踏切は他の範とすべきものであるが第一群の前飛の踏切が少し前へに流れ氣味となるのが惜しい。此の踏切りと、何の飛込に於ても常に腰から下の形に一層の注意を拂つて全部の飛込を蝦形後飛の程度にまで練つてほしいものである。今年新に加はつた難易率の高い複雑な飛込は來年を期待する。多忙な職務の餘暇を見て僅かな練習を續けた原秀夫は意想外の好調を表はした。永年の経験と思慮深い練習が此の好調を持ち來しその飛込にスケールの大と迫力を與へたものであらう。三位に留つた原西三は特異な素質を有して居る。恐らく本人も氣が付いてはゐると思ふが最大の缺點が踏切りにある。之れを正しくする爲めに特殊な練習を工風したならばその飛込は一層光つて來ることと思ふ素質を生かす爲めに一段の精進を願ひ度い。

男子高飛込は原秀夫の一人舞臺の觀があつた。規定飛では岩切、林等と大差はなかつたが選擇飛に平均して得点し何等の危氣もなく優勝した。此の種目に優勝し飛板飛込にも優勝に迫つた事には敬意を表する。二位の林は高飛込に獨特の飛込を示して居る。飛板飛込で廻轉神經を養つて選擇飛を充實して欲しい。岩切は選擇飛に一つ失敗して遂に三位とな

つた。全體として飛込に落付の生じて來たのであるから一層の努力を望みたい。此の種目には關東豫選の際負傷した原西三と申込手續上の手落ちの爲めに出場出来なかつた中田周三の参加を得なかつた事は残念であつた。尙ほ明年は柴原にも期待したい。

女子の飛込は男子の進歩に比して却つて昨年より退歩した觀がある。踏切を強くして高く上らうとし又飛込を確實にしようとしてゐる企圖は充分に觀取し得られるが、未だ力足らずの境地に彷徨してゐるのであらう。之れではミス・シマイカが米國に歸つて日本の女子の飛込は米國に匹敵すると云つたといふ事實はつけ焼刃であつたのか。飛込の練習中全く見當が崩て來る事がある此の境地を抜けて一段の進歩がある。米國に優る事は今一步の努力である。

飛板飛込に於ては香野が確實に得点して大澤政代と昨年の位置を轉倒した。香野、大澤共に確實さを覗つて少し飛込が固い。易しい飛込を澤山飛んで昨年の柔さを取りもどして欲しい。

高飛込も確實さを以て香野が優勝し二つの選手權を得た。二位林には確實さを三位大澤禮子には試合度胸を求めたい。此の種目は飛込がオリンピック優勝を狙ふに最も容易な種目である。世界に此の競技を行ふ者が少ないのであるから伯林では優勝を期し度いと思ふ。女子競技者の奮起を期待して止まぬ。

男子飛板飛込

競技順	氏名及所屬	飛込	1	2	3	4	5	合計	順位
1.	首藤 武久 (日大)	規選	5.04	9.86	3.80	4.80	9.00	32.50	11
2.	原 西三 (南洋探検)	規選	13.32	9.18	14.06	11.52	12.24	60.32	2
3.	原 秀夫 (昭和肥料)	規選	11.88	10.20	11.82	11.20	11.88	59.98	3
4.	永井 政一 (明大)	規選	10.08	10.54	11.40	4.16	9.36	45.54	5
5.	小倉昭一郎 (横濱 D.C)	規選	8.28	6.80	7.22	4.80	10.08	37.18	8
6.	片岡 弘吉 (三田水泳)	規選	5.04	9.18	5.70	8.96	5.40	34.28	9
7.	石川 金繼 (明大)	規選	10.44	8.50	10.26	9.60	9.72	48.52	5
8.	細谷幸四郎 (日大三中)	規選	7.56	6.80	9.50	8.00	10.08	41.94	7
9.	柴原 恒雄 (日大)	規選	14.04	13.26	14.06	11.84	12.24	65.44	1
10.	田中 周三 (松任體協)	規選	6.12	7.82	5.70	4.48	8.28	32.40	12

男子高飛込

競技順	氏名及所屬	飛込	1	2	3	4	合計	順位
1.	末次 保 (T. D. C)	規選	4.40	6.72	8.28	5.88	29.28	6
2.	山口 二郎 (明大)	規選	5.50	7.20	4.32	11.02	28.04	9
3.	門倉 孝司 (三田水泳)	規選	6.60	7.20	7.92	7.22	28.94	7
4.	原 秀夫 (昭和肥料)	規選	7.92	7.68	14.40	8.74	38.74	2
5.	岩切 盛行 (明大)	規選	7.04	8.40	12.24	11.78	39.46	1
6.	林 慶二郎 (明大)	規選	8.14	9.12	12.96	7.98	38.20	3
7.	伊藤 眞吉 (三田水泳)	規選	7.26	8.16	3.96	9.12	28.50	8
9.	中島 春義 (横濱 D.C)	規選	6.60	5.52	12.60	8.36	33.08	5
10.	杉原 雪夫 (三田水泳)	規選	6.60	7.20	10.08	11.78	35.66	4

棄權 S 永松 武 (F.D.C)

→男子飛板飛込の續き及び女子飛板高飛込の記録は24頁に續く

水球競技日本選手権

N S R 水球委員

日本選手権水球競技一瞥

最近照明其他の設備が整ひ一般水泳競技會が夜間に、何等の不自由なく、否むしろ有利に行はれ得るに至つた關係上大競技會は原則として夜間行はれる立前となつた。然るに水球競技は飛込競技と共に未だ現在の設備では充分に満足すべき結果を得られないのは遺憾である。

其の上各競技の内容が充實し來。其れに伴ひプログラムの間隔も少く貴重な時間を徒に設備の轉換に費すことの無駄が痛感されるに至つた爲と、又一方に於ては、水球競技に参加すべき競技者が競泳競技に出場するがため水球の方を犠牲にして、競泳に全力を注ぐと云ふ事も有り得る故その重複を避け成可く多數のチーム、人材の参加を容易ならしむる様にとの考へからしても分離すべきであると考へて、本年度より斷行した譯である。

尙其の上に重要な點は此の競技會の成績は目下計劃されつつある今冬のオリンピック選手候補者合同練習の参加者、即ちオリンピック選手候補者撰定

の第一次撰出参考成績となると云ふ意味を持つたものである。其の點よりしても時間的に餘裕あり、参加人材の廣範圍な、併して競技場條件の最良な競技會が望ましかつたわけである。

扱て、参加チームであるか、稻泳會A組、三田水泳會、稻泳會B組、聖ポール俱樂部、一橋俱樂部、櫻泳會、慶應普通部、早稻田中學の八チームである、其の系統は稻泳會、三田水泳會は早慶チームであり、聖ポール俱樂部は立教、一橋クラブは商大、櫻泳會は日大である即ち、早・慶・立・商・日のインターカレッジ、チームに二三宛のO・Bメンバーの参加したものと二つの中等學校チームである。

斯く見渡す所、毎年毎年参加チームに變化を認め得ない、十年一日の如き感がある、唯昨年度邊よりO・B連の参加を見る傾向があり、本年は三田の坂倉、平岡、稻泳會の外川、昨年も元氣で末弘會長を驚ろかした一橋の川口（安部輝太郎君も一時メンバーにリストされそうだつた由）櫻泳會の片岡、加藤等のO・B参加を見たのは、純クラブチーム發達の第一階程を示すものとして慶賀すべきであらう。



併しながら此等チームは總て東京チームであり、一步東京を踏み出せば地方よりの参加が絶無なのは當事者の考ふべき點であらう。在阪藤田君の努力も空しく關西軍の來征を見られなかつたのは淋しかつた、日本選手權大會の名に於て、何處か缺けた所のある様な氣があつた。此の點よりしても、隔年の東西對抗競技會が本年度は關西に於て行はれるの氣運にある由大に期して待つべきであらう。

今此處に各チームの感じとも名附くものを書けば 稻泳會A組

純粹の早稻田のベスト、メンバーで、好漢阪上を中心に奇襲を唯一の手とする高橋、巨軀志村の以上の三大スプリンターを揃へ、防ぐに忠實着實なる若山以下を以つてして、制覇の偉業も首肯し得るチームであつた。

三田水泳會

慶應のベスト、メンバーに、O・B坂倉、平岡の参加を見たものである、決勝において闘將磯邊の準決勝試合中の災禍の爲不幸出場を見なかつたのは同チームの大痛事であつたらしい。決勝ではF・W若林が出場して居たがチーム全體に見て覇氣に缺くる處がなかつたか。

稻泳會B組

O・Bの外川君が若年の仲に混つて元氣な所を見せて居た。恐らく延東あたりが中心であらふ荒削りであるが心得たゲーム振りと元氣が良く三位を得せしめたと云へやふ。

聖ポール俱樂部

嘗てはインターカレッジに於て最も均勢の取れたフォワードとして矚目された、遠藤、關口、田野のトリオの中僅に田野より名を列ねてないのが淋しい攻勢共に昔日の面影は偲べないが球に忠實に動く處が身上か、此儘精進を續ければ將來の大成は期し得るチームである。

一橋俱樂部

川口、鈴木等の先輩の混つた商大チーム。傳統的のファイティング・スピリットは敬意を表すが、チームとしての練習が足りなかつたのかコンビネーションに物足りない所があつた、期待された聖ポールとの一戦は敢なく敗れたのは惜しい。

櫻泳會

日大先輩と現役の混合軍との事、玉川ブル時代顔觸れが出て居た。

F・Wにスピードはあつたがチームとして纏りのないお粗末なもの、殊にG・Kは恐らく急造か、當日

の出場チーム中最も劣つて居た。

後半、質の悪いファウルが續出したのは遺憾。片岡、加藤等の努力にも拘らず、大會の空氣を傷け延いては同チームの聲價を墮した事は見る者として櫻泳會チームの爲に惜しむべき事と洵に同情に堪へない。

慶應普通部 及 早稻田中學

共に元氣潑刺たるチーム、若さと元氣一杯、共に強敵に敗れたりと云へ中等東西對抗豫選では大に活躍を期待し得るもの。

大學丈では大成し得ぬ此の水球競技に斯く若き後繼者の元氣なるものを見て慶ぶ。精進第一のことを望む。

概説すれば以上の如きものであつたが、遺憾なる事は未だに水球競技の精神より遠き技を行ふもの今尙絶へざる事である。水球競技發達の第一歩時代は既に去り現在は益々着實に一路發展向上に向つて進むべき時にありながら精神的訓練の不足せる競技者の二三ありし點を認め、暗然たるものがある。斯る競技者の参加する限り、斯技の發展は障害せらるる事多大なるものがある。

獨立第一回の競技會を斯く何等の支障なく完了せしめられたる役員諸氏、水球委員諸氏の努力に對し敬意を表するものである。

經過及びその批評

大會第一日には。早稻田中學、慶應普通部が稻泳會A・B組を夫々相手取つて奮戦し、大學選手先輩連に對し堂々の戦を進めて本大會に一脈の新鮮味を盛つて呉れた事は喜ばしい。共に中學級として申し分のない泳ぎと球捌きを示し、不幸敗れたりとは云へ將來あるを思はしめた。何れは近日行はる東西對抗水球戦に東部中等校代表の榮位を争ふチームであらふ是こそ觀物である。

櫻泳會對三田水泳會の一戦は正にワンサイド、ゲーム。三田水泳會チームは縦の連絡のみに依て連續得點を收めて居た。磯邊の鋭いシュートが目立つ。

聖ポール對一橋クラブの戦、第一日中最も接戦を期待されて居たが聖ポールの元氣に11—1で一橋は敢なく敗れた、一橋のバツクスに相手をマークする事が足りなかつた。聖ポールでは相變らず田野が良く泳いでゴール、ゲッターとして活躍した。だが田野をR・Wに置く事はどうか。幸ひL・Wには忠實に動く吉岡が居るのである、その位置を替へて吉岡をバスの仲繼に田野を攻撃の主力に据へ直したらH・Bの藤岡と共にもつと面白いゲームが出来はしなかつ

たか。只田野がR・Wに慣れて居ると云ふ丈で其まゝにして置くのは賢明ではないと思ふ。

第二日

準決勝戦では何れも勝者が豫想されて居るのと直後に夫々三位決定、決勝の大事な一戦が控へて居る事として互に自重して、面白いゲームは見られなかつたが流石に前日にセレクトされた四チーム丈に堂々たる戦を示して居た。メンバーは殆ど同一な爲め戦況は略して直に次の三位決定戦の戦況に移る。

稲泳會B組 對 聖ボール

開始後、聖ボール元氣に先づ早大陣に攻めたがものにならず。其後藤岡、田野等の奮闘で攻撃を続けるが前半無爲、稲泳會は延東F・Bの活躍にて屢々危地を脱し、1分30秒外川、4分31秒五十嵐と着々得點して、2-0とリードして後半に入る。

後半、聖ボール些か疲労の氣味ありバックスのマークは稍亂れ勝ちで、2分7秒岩田、5分・6分半五十嵐と連続得點を許して了つた、只田野が元氣に攻めて二分半得點し零敗を免れた。

決勝戦 稲泳會A組對三田水泳會。

稲泳會はC・Fに高橋を加へて攻撃力を倍加し、F・Bを堅實な志村、若山で固めて、三田の強襲に構へた。高橋はスピードと強引なプレーと試合巧者が相俟つて開始後37秒、後半開始後1分2秒と得點し、遂に三田軍に劈頭痛打を加へてその闘志を抑へ稲泳會の連覇に與る所大であつた。

三田水泳會はフォワードの闘將磯邊が午前中の稲泳會B組との一戦は傷いた爲、若林を入れてウイングへ廻し澤海がセンターとなつて居つたが之は同チームとして相當の痛手だつたらしい。澤海は春のシーズンH・Bをやつて居た爲か本來C・Fになり切れず、その位置が少し下り氣味だつた爲に阪上をして容易に攻撃に参加し得る結果を導いて了つた。バックには往年の塾軍の柱石坂倉が出場して大活躍して

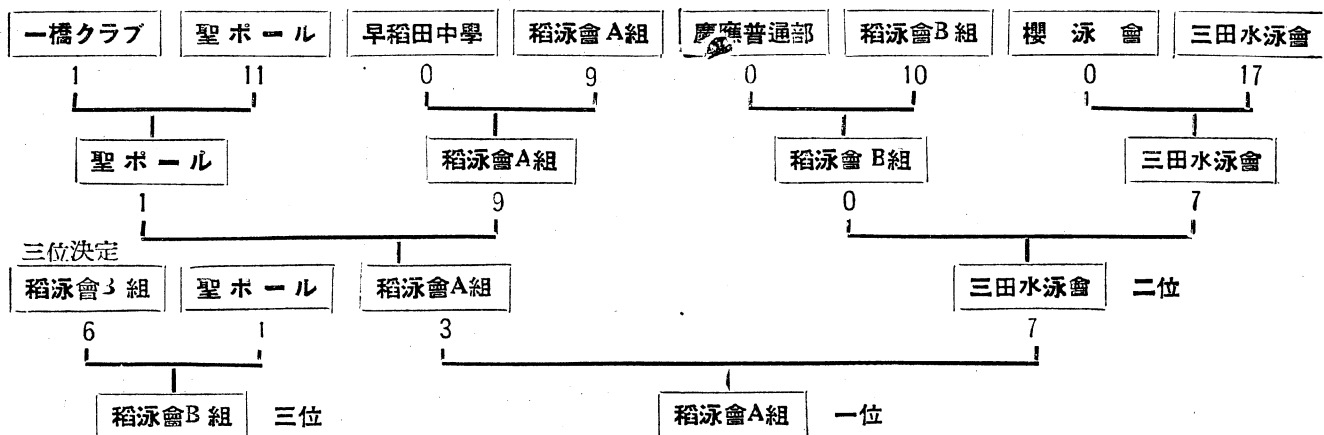
居るのが目立つて居た。

ゲームは午後三時より村井氏のレフェリーの下に開始されたが稲泳會は終始優勢を持して、前述の開始後37秒高橋の得點をきっかけとして殆ど三田軍の陣に戦ひ危氣なく優勝した、三田軍は攻められ乍らも若林をフローテイング、フォワードとして敵ゴール前に残して巧に戦を進め、前半6分15秒若林得點して同點のまま後半に入つたが後半劈頭再び高橋に得點され、タイムアップ前更に坂上に一點を許して遂に覇權を逸した。

稲泳會は茲に榮ある日本選手權を四回連続獲得の記録を残したが、泳ぎと云ひ體力と云ひ洵に堂々たるもの、チームプレーとしても阪上は常に地味に動いて良くフォワードを働かせて居た。只フォワード間の連絡が悪かつた事と、三田軍に比して一體にボール・ハンドリングの遅い事があれ丈押し乍ら得點の差の少なかつた原因であらふ。

さあれ外國人に比して遜色のない巨軀と、外國人に優るスピードを有するチームである、本格的な水球の練習を續けたならばオリンピックに於ける制覇も決して遠くない事と思ふ。

大會二日を通じて感じた事は、中等校チームの擡頭と早慶兩チームの技術の進歩である。中等校のチームは昨年比して格段の進歩を示し、シュートの強さと云ひチームの動きと云ひ、インター・カレッジの下位のチームと對戦しても恐らく大差ない程の感をいだかせた。早慶兩軍の不斷な眞摯な研究は果然決勝戦に花々しい一戦を展開したが、殊にも目立つたのはG・Kのプレーである。三田軍の廣瀬はドリブルに突進して來る敵に對し決勝戦に於いてさへ屢々果敢な突進を敢てして成功して居た。この成功は從來比較的受身勝なこのポジションに對して將來一つの大きな指針を與へるものとして注目されて良いものである。(終)





←16ミリで日本式泳法を勉強するキツパス監督

再び見る水泳日本 キツパス監督は語る

安部輝太郎

ロサンゼルスはもう二年の昔となつた。ベルリンは『水泳王国』となつた日本が何本の國旗を擧げるだらうかと既に待望して居る。孤軍奮闘するであらうタリス其他歐洲選手はさて措き、強敵アメリカの現勢力は如何？ いざ吾等の選手等の試練にもと招いた米國の精銳は、小人数を以て然かも遠征のハンデキャップの下に堂々三個の選手權を土産に今や故國に錦を飾つて行つた。其はロサンゼルスで吾等のチームに粉碎された米國水泳界に何んなに刺激を與へ奮起を促すことであらう。然し吾等の親友キツパス監督は之を喜ぶ前に、もつと日本から學びベルリンに備へやうと短い滞在中研究に餘念のない有様であつた。

・新聞聯合寫眞・

キツパスは語る——

『又々御丁寧な御招待に與り御禮の申上げやうもありません。私も自分が水泳界から退く前には是非一度日本のチームに米國へ来て頂ける様盡力する積りです。今度の遠征では皆様の心からなる御世話の御蔭で望み得た通りの成績を得ましたが、一番良かったと思ふのは勝つたことよりも、國內に敵を持たぬメデイカを千五百で負かして下さつたことで米國にはあんな良薬はありません。力及ばず敗れたハイランドもあれだけ奮戦すれば思ひ残す所は有ません

又來年多數の選手を招んで下さるさうですが其時は是非日本の、在來よりも最も手強い敵となる様心掛けてゐます。強敵であればある程、日本の皆様が喜んで迎へて下さることが私には良く解つて居りますベルリン大會こそは斯うして戦ひ親しみ合つた日本と米國の眞の決戦場たらしめやうと私は今から心を躍らせてゐます。其迄に今度再び來て實際に見、又松澤さん達から惜しみなく教へて戴いた日本式泳法を充分翫味したいと思ひます。日本式泳法が其儘體格の異なる米國選手に應用出来るか否かは別として、恐らく來年或はベルリン大會迄には一部米國選手に試みて、皆さんに「ヤツタナ！」といふ處をお目に掛ける積りです。

然し私は常に日本の水泳が強いのは泳法より何よりスピリットとNSRの組織の力だと信じて居りま

す。お恥しい話ですが此點米國は未だ遠く及びません。總ての米國選手を今度連れてきた三選手の様な、そして彼等に見えた日本選手諸君の様なスピリットの持主にしなければ仲々日本との戦には勝てないと思つてゐます。組織の方も米國には未だ獨立した水上聯盟がなく、陸上競技を本體としたAAUに隸屬して居る關係、水泳のことが眞實に解る連中は各地のプロフェッショナル、コーチしかないこと及び國が廣過ぎて仲々各地の選手役員が一所に集るチャンスがないといふ様な事情から倒底NSRの様な有能な分業的且つ獻身的な團體を得るといふことは遠い々々理想と云はねばなりません。此は私が一生掛つても出来ることか如何か分かりませんが、而し私は絶望はして居りません。

一般の方々が水泳に對する興味、關心と云つた點でも日本と米國では比較になりません。而し私は米國の水泳關係者である以上、私の進むべき道は如何んなに難しくても唯一つです。それはベルリンで、でなければ其次のオリンピックで日本軍を何とか敗るといふことです。出来るか出来ないか私はやつてみます。散々米國に居てさへ望めない様な行き届いたお世話になつて御禮の申上げ様もない次第ですが此の野心丈けは棄てるわけに參りません。

では日本の皆様、來年又神宮プールで御目に掛りませう。サヨナラ！』

大澤保三郎先生を悼む

白山源三郎



大澤保三郎氏略歴

明治三十三年大日本武徳會游泳術講習所第一回卒業生

同年京都市立染織學校卒業

明治四十二年柔道四段允許

其後七段＝累進

大日本武徳會武道專門學校柔道部助教授

大正四年游泳術教士

大正六年柔道教士

昭和三年游泳術範士

昭和九年柔道範士

現在、柔道＝於テハ京都府立二中、市立第一工業、憲兵隊、刑務所、皇宮警察、武徳會京都支部、京都府警察部各主任教授

水泳＝於テハ武徳會京都游泳部移管以來ノ主任教授京都體育協會水上部長、又日本水上競技聯盟評議員タリキ。

世の中に意外な事と云つても大澤先生の訃報位意外な事はなからう、「大澤先生が死去された」と云ふ言葉位變に響く言葉はなからうと思ふ。高齢にして猶矍鑠たる先生の母堂が「今でもまだどこかへ外出して居る様な氣がします」と云はれたが此言葉は親子の情として尤であるのみでなく吾々周囲のものにとつても誠に同感を禁じ得ないのである。

先生は何人も羨望する偉大なる體格の所有者であつた柔道六段游泳術範士鬼でも拉ぐことの出來ぬ武人であつた。吾々の間に於ては凡そ「死」と云ふものから最も縁の遠い人間と思はれる人であつた。然るに此先生が悲しくも此世を去られたのである、意外と云はずして何と云ふべきやである。

五十二年の先生の生涯は短かい、未だ使命の全部を果されたとは云ひ難ひ然し此短かい生涯に人一倍多くの事を爲して逝かれたと思ふ。本職の柔道に於て武徳會に、武術専門學校に京都の各中等學校に殊に警察界に人材を養成された功績は誠に大なるものがある。永年武徳會游泳部を主宰して子女の水泳練習に盡され、直接關接先生の薰陶を受けたもの年々千人を起して居る先生の恩恵は非常に廣く汎つて居るのである。葬送の日に押寄せた數千人の會葬者を見ても判る。水泳の事に就いては、夙に競泳の重要なを認められ武徳會の傳統に抗し、退嬰的なる京都の父兄の説得に努める等かくれたる苦心をして今日迄の武徳會男女水泳選手の輩出に貢献された勞苦は吾等の忘るべからざるものである。

個人としての先生に就ては色々の思出を書きたいが紙數がない、長所も短所もあつた人である。長所の一つとしてはよく人の爲に盡された事である何人の如何なる依頼にでも自ら出掛て行つて色々と盡力された人である其爲に仲々忙しい日を送られた。今度の病中も床に居り乍ら或青年の刑事事件に奔走の依頼を受け看護者の油斷を見てフラック脚を踏みしめつゝ自ら警察に出掛け半日掛つて之を果されたと云ふ事である。一方無頓着が短所であり又長所であつたと思ふ随分非難した人もあるであらう、然し之等の人々でも先生を憎む事は出來なかつたであらう。そうだ、先生は終始萬人に愛された人であつた。萬人に愛され無頓着が病に禍をして惜しい短い一生を終られたのであつた。

19頁飛込記録男子飛板飛込の續き

12.	奥田 正勝	規	7.56	5.78	8.74	4.80	6.12	33.00	10
	(振甫水)	選	6.84	6.72	7.20	4.80	7.60	66.16	2
13.	杉原 雪夫	規	11.88	11.22	9.50	9.60	7.92	50.12	4
	(三田水泳)	選	10.08	13.86	9.00	13.60	12.54	109.20	4
棄權	11	北村久雄	(松任・農・O.B.)						

女子高飛込

競技順	氏名及所屬	1	2	3	4	合計	順位
1.	大澤 政代 (F. D. C)	6.60	6.60	6.00	5.88	25.08	5
2.	香野夫佐子 (甲子園)	7.26	7.26	7.92	8.96	31.40	1
3.	山路 明子 (無所屬)	7.26	5.06	5.76	5.60	23.68	6
4.	大澤 禮子 (美津野)	6.82	7.92	7.92	6.44	29.10	3

5.	林 悦子 (九段精華)	7.70	7.70	6.48	8.12	30.00	2
6.	島崎惠美子 (無所屬)	6.60	6.16	5.04	8.68	26.48	4

女子飛板飛込

競技順	氏名及所屬	飛込	1	2	3	合計	順位
1.	松本 初子 (F. C. D)	規	6.48	7.48	9.50	23.46	4
		選	6.48	9.60	10.08	49.02	4
2.	島崎惠美子 (無所屬)	規	4.32	11.22	11.78	27.32	3
		選	11.88	13.30	12.16	64.66	3
3.	大澤 政代 (F. D. C)	規	12.24	9.18	10.64	32.06	2
		選	12.60	9.88	12.00	66.84	2
4.	香野夫佐子 (甲子園)	規	12.96	10.80	14.06	37.90	1
		選	10.44	12.60	11.20	70.14	1

昭和九年 度・日本選手権 地方豫選會戰績

宮城

宮城水泳協會主催 宮城縣
體育協會・河北新報社後援
松島灣鹽釜プール(50米)

7月29日 氣 21° 水 23°.5

- 100自 1. 荒井 寛次(馬 陵) 1:07.9
2. 庄 司 隆(S.S.N) 1:09.5
3. 飯村 清彦(愛 宕) 1:10.1
- 200自 1. 松本健五郎(S.S.N) 2:57.9
2. 遠藤仁太郎(T. G.) 2:59.0
3. 渡邊 恒久(S.S.N) 3:07.4
- 400自 1. 佐藤 久一(福 陽) 5:48.7
2. 庄司 猛夫(磐 城) 6:05.2
3. 平 寅 雄(福 陽) 6:24.1
- 1500自 1. 佐藤 久一(福 陽) 23:25.7
2. 庄司 猛夫(磐 城) 23:40.2
3. 平 寅 雄(福 陽) 25:56.0
- 100背 1. 本田 文三(福 陽) 1:25.4
2. 鷺谷 光明(愛 宕) 1:26.0
3. 富岡 信吾(磐 城) 1:27.0
- 200背 1. 佐藤 利次(磐 城) 3:09.1
2. 本田 文三(福 陽) 3:14.3
3. 富岡 信吾(磐 城) 3:16.2
- 100平 1. 小野 辰雄(鰐 陵) 1:29.9
2. 半野 精一(福 陽) 1:30.6
3. 高木 熊夫(磐 城) 1:35.6
- 200平 1. 半野 精一(福 陽) 3:19.3
2. 小野 辰雄(鰐 陵) 3:25.9
3. 高木 熊夫(磐 城) 3:30.4
- 800リレー 1.S.S.N 12:22.5 2.G.Y 12:46.4

千葉

千葉縣水泳聯盟主催千葉中
學プール(50米)氣27°水25°

- 男子競泳
- 100自 1. 九十九里勇治(銚子商) 1:07.6
2. 河野 一民(千葉中)
3. 猿田隆之助(大多喜中)
- 200自 1. 九十九里勇治(銚子商) 2:38.1
2. 河野 一民(千葉中)
3. 平野長太郎(K.S.K)
- 400自 1. 永見 達明(稻泳會) 5:16.4
2. 山本 美雄(千葉中)
3. 青木 正之(大多喜中)
- 1500自 1. 永見 達明(稻泳會) 20:38.0

2. 山本 美雄(千葉中)
3. 青木 正之(大多喜中)
- 100背 1. 田中 滋二(銚子青) 1:22.6
2. 猿田隆之助(大多喜中)
3. 勝山 隆義(葉泳會)
- 200背 1. 田中 滋二(銚子青) 2:55.8
2. 勝山 隆義(葉泳會)
- 100平 1. 松村 義誠(葉泳會) 1:28.0
2. 近藤 彌勝(大多喜中)
3. 池田 喜夫(千葉中)
- 200平 1. 松村 義誠(葉泳會) 3:13.0
2. 池田 喜夫(千葉中)
3. 近藤 彌勝(大多喜中)
- 800リレー 1. 葉泳會 (莊司、大河内、山本、河野) 11:51.6

女子競泳

- 100自 1. 小林カチヨ(K.S.K) 1:51.8
2. 中澤 コウ(K.S.K)

東京

關東水泳協會主催 明治神
宮外苑プール(50米) 7月21
日 氣 22° 水 23°

- 男子競泳
- 100自 1. 高橋 成夫(稻泳會) 1:00.0
2. 鶴 岡 榮(聖ポール) 1:03.0
3. 川 名 武(東商船) 1:04.4
- 200自 1. 鶴 岡 榮(聖ポール) 2:25.2
2. 川 名 武(東商船) 2:25.6
3. 篠塚 陽助(聖ポール) 2:26.4
- 400自 1. 根 上 博(聖ポール) 5:01.6
2. 本田惣一郎(聖ポール) 5:02.2
3. 大崎 定兼(聖ポール) 5:20.0
- 1500自 1. 本田惣一郎(聖ポール) 19:47.0
2. 根 上 博(聖ポール) 19:58.0
3. 岩崎 三郎(聖ポール) 21:36.6
- 100背 1. 松下 信一(聖ポール) 1:18.4
2. 鈴木 正士(東高校) 1:19.6
3. 小川 年男(茨城中) 1:20.2
- 200背 1. 松下 信一(聖ポール) 2:50.2
2. 小川 年男(茨城中) 2:54.6
3. 鈴木 正士(東高校) 2:56.6
- 100平 1. 長久 俊三(三水會) 1:18.4
2. 筒井八男治(聖ポール) 1:19.4
3. 柳澤榮三郎(法泳會) 1:19.8

- 200平 1. 柳澤榮三郎(法泳會) 2:54.4
2. 筒井八男治(聖ポール) 2:54.6
3. 長久 俊三(三水會) 2:56.4
- 800リレー 1. 聖ポール (根上、鶴岡、篠塚、本田) 9:35.6 2. 網町クラブ 10:52.8
- 女子競泳
- 100自 1. 太田 隆子(府六女) 1:25.8
2. 河端幸江子(府一女) 1:28.6
- 200自 1. 河端幸江子(府一女) 3:27.2
2. 内藤美哉子(府六女) 3:30.8
3. 西村二三子(武藏女) 3:33.4
- 400自 1. 太田 隆子(府六女) 6:55.6
2. 西村二三子(武藏女) 7:18.8
3. 内藤美哉子(府六女) 7:43.6
- 100背 1. 大木 櫻子(府六女) 1:37.2
2. 永井千鶴子(ナ シ) 1:46.0
3. 宮崎登代子(成 女) 1:49.6
- 200平 1. 齋藤 房江(泳道普) 3:46.0
2. 山東 初子(ナ シ) 3:51.6
3. 増田みれ子(府六女) 3:56.4
- 400リレー 1. 府立六女 (太田、廣瀨、内藤、大木) 6:20.8

横濱

横濱水泳協會・横濱市主催
横濱市立水泳場(50米) 7月

- 男子競泳 28日 氣 28° 水 24°
- 100自 1. 坂上安太郎(稻泳會) 1:00.0
2. 服部 京造(横水協) 1:03.6
3. 杉 本 盛(日 大) 1:06.6
- 200自 1. 坂上安太郎(稻泳會) 2:21.8
2. 杉 本 盛(日 大) 2:22.2
3. 須崎 秀夫(横水協) 2:27.4
- 400自 1. 須崎 秀夫(横水協) 5:19.6
2. 桑野 正實(日 大) 5:24.4
3. 西田 三郎(横水協) 5:32.8
- 1500自 1. 桑野 正實(日 大) 21:26.8
2. 西田 三郎(横水協) 22:45.2
3. 鈴木 建三(横水協) 23:10.8
- 100背 1. 勝久 重隆(稻泳會) 1:14.4
2. 秋吉十九夫(日 大) 1:14.8
3. 鈴木 重勝(日 大) 1:16.8
- 200背 1. 勝久 重隆(稻泳會) 2:45.6
2. 秋吉 龍二(日 大) 2:57.4

3. 鈴木 重勝(日 大) 3:01.6
 100平 1. 岡田 達男(日 大) 1:17.0
 2. 川島 諄介(神商工) 1:18.4
 3. 二見 宏(關東學) 1:29.4
 200平 1. 岡田 達男(日 大) 2:53.6
 2. 川島 諄介(神商工) 3:10.2
 3. 二見 宏(關東學) 3:18.4
 800リレー 1. 日大 (遊佐、桑野、秋吉、杉本)
 10:04.0

女子競泳

- 100自 1. 須藤 光代(横一女) 1:23.0
 2. 増山 ちせ(平塚女) 1:23.2
 3. 須藤 菊代(横水協) 1:29.8
 200自 1. 須藤 光代(横一女) 3:07.4
 2. 河村 静子(横一女) 3:09.8
 3. 須藤 菊代(横水協) 3:22.8
 400自 1. 河村 静子(横一女) 6:58.8
 2. 佐々木和子(平塚女) 7:40.2
 100背 1. 増山 ちせ(平塚女) 1:42.0
 2. 藤田 芳子(横一女) 1:44.2
 3. 俣野 ユキ(横一女) 1:45.4
 200平 1. 柳下治子(横須賀女) 3:45.4
 2. 大井美奈(濱須賀女) 4:19.8
 3. 須藤 照代(横一女) 4:47.2

男子飛板飛込

1. 小倉昭一郎(Y.D.C) 126.94
 2. 首藤 武久(日 大) 117.62
 3. 細谷幸四郎(日三中) 112.68

- 男子高飛込 1. 中島 春義(Y.D.C) 92.16
 2. 前島 綾夫(ナ シ) 89.02
 3. 牧野 康成(日 大) 84.62

新潟

新潟縣水上競技聯盟・新潟縣體育協會主催 長岡市悠久山プール(50米) 7月29日 氣30°水23°

カツパの秋 その一 **スギタ●サンタロ**



- 100自 1. 土屋 吉光(新 中) 1:09.5
 2. 坂井 泰一(新 中) 1:16.6
 3. 成田 一雄(三 中)
 200自 1. 關川 勝(長 中) 2:49.0
 2. 土屋 吉光(新 中) 2:49.1
 3. 齋藤松太郎(新 中)
 400自 1. 松浦 充夫(長 中) 6:07.0
 2. 齋藤松太郎(新 中) 6:08.2
 3. 王橋 弘(三 中)
 800リレー 1. 新潟中學校 (坂井、堀、土屋、齋藤) 11:23.0
 100背 1. 角田 賢三(日 體) 1:17.5
 2. 堀井 条儀(長 中) 1:27.5
 3. 梅田 悌二(新 中)
 200背 1. 角田 賢三(日 體) 2:57.5
 2. 堀井 条儀(長 中) 3:15.2
 3. 梅田 悌二(新 中)
 100平 1. 三井田吉彌(柏 商) 1:29.0
 2. 小島 嘉平(長 商) 1:33.0
 200平 1. 三井田吉彌(柏 商) 3:06.5
 2. 小島 嘉平(長 商) 3:24.0
 3. 神保 秀雄(長 中)

長野

野尻湖游泳協會主催・信濃毎日新聞社後援 長野市營プール(50米) 7月22日 氣25°水21°

- 100自 1. 林 正弘(野 協) 1:11.6
 2. 池田 行雄(野 協) 1:12.0
 3. 番 清(長 商) 1:14.2
 200自 1. 武村 寅雄(明 大) 2:30.4
 2. 林 正弘(野 協) 2:47.8
 3. 池田 行雄(野 協) 2:52.4
 400自 1. 市村 敬吾(野 協) 5:25.0
 2. 武村 寅雄(明 大) 5:26.4
 3. 原 嘉博(須 中) 5:57.2
 1500自 1. 市村 敬吾(野 協) 21:17.0
 2. 原 嘉博(須 中) 24:14.2
 3. 平川 操(長 商) 26:08.4
 100背 1. 池田 邦武(野 協) 1:24.0
 2. 官崎 博道(野 協) 1:26.4
 3. 松橋 正己(野 協) 1:27.0
 200背 1. 池田 邦武(野 協) 3:05.6
 2. 官崎 博道(野 協) 3:11.0
 3. 松橋 正己(野 協) 3:12.4
 100平 1. 前田 倍三(稻泳會) 1:25.2
 2. 辰野憲太郎(野 協) 1:28.8
 3. 川原 眞純(野 協) 1:32.0
 200平 1. 前田 倍三(稻泳會) 3:21.8
 2. 川原 眞純(野 協) 3:33.2
 3. 辰野憲太郎(野 協) 3:33.4

- 800リレー 1. 野尻湖游泳協會 11:07.2
 2. 長野商業 12:03.0

静浦

- 静浦游泳協會主催 江浦プール(50米) 8月1日 2日
 100自 1. 坂倉 晴(静浦青) 1:05.4
 2. 宮部 忠雄(白 泳) 1:10.2
 3. 久保田忠雄(古 俱) 1:10.6
 200自 1. 坂倉 晴(静浦青) 2:29.6
 2. 栗田 榮司(白泳會) 2:38.2
 3. 大沼 次好(静浦青) 2:49.2
 400自 1. 市川直太郎(沼商俱) 5:35.4
 2. 栗田 榮司(白泳會) 5:35.4
 3. 渡邊 保久(静青年) 5:49.8
 100背 1. 細谷 定一(白泳會) 1:16.4
 2. 大瀧 光夫(庵原中) 1:21.6
 3. 鈴木 勳(沼商俱) 1:21.8
 200背 1. 細谷 定一(白泳會) 2:52.8
 2. 大瀧 光夫(庵原中) 3:02.8
 3. 鈴木 勳(沼商俱) 3:04.4
 100平 1. 眞部竹次郎(静浦青) 1:22.8
 2. 高橋 隆圓(白泳會) 1:27.2
 3. 森川 幸尙(静浦青) 1:30.4
 200平 1. 眞部竹次郎(静浦青) 3:11.8
 2. 森川 幸尙(静浦青) 3:11.8
 3. 高橋 隆圓(白泳會) 3:13.8

- 800リレー 1. 静浦青年團 10:30.8
 2. 白泳會 10:50.4
 3. 沼商クラブ 11:11.4

濱名

濱名灣游泳協會主催 濱松第一中學校プール(25米) 7月22日 氣30°5 水27°

男子競泳

- 100自 1. 新井 茂雄(濱松農) 1:08.2
 2. 鹽澤 昇一(静 商) 1:12.0
 200自 1. 新間 六炳(稻泳會) 2:21.0
 2. 新井 茂雄(濱松農) 2:21.8
 3. 中村豊太郎(中 農) 2:25.8
 400自 1. 新間 六炳(稻泳會) 5:09.8
 2. 中村豊太郎(中 農) 5:12.2
 3. 田端 三郎(三水會) 5:28.2
 1500自 1. 牧野 正藏(稻泳會) 20:34.6
 2. 那須田 清(中 農) 20:57.6
 3. 鶴藤 俊平(掛 中) 22:17.3
 100背 1. 吉川 幸雄(静 商) 1:41.2
 100平 1. 稻垣 武一(白泳會) 1:25.2
 200平 1. 稻垣 武一(白泳會) 3:04.0
 2. 鷺山 英教(掛 中) 3:08.2

女子競泳

- 100自 1. 古田つね子(中泉女) 1:24.8
 400自 1. 古田つね子(中泉女) 7:20.2
 100背 1. 古田ますゑ(中泉女) 1:48.6

200平 1.大塚 京(中泉女) 3:56.2
名古屋 名古屋體育協會主催・振甫
 游泳場(50米) 7月21日 氣

22°5 水25° 22日氣温27° 水温25°

男子競泳

- 100自 1.志村 義久(稻泳會) 1:00.6
 2.下平 登(明大) 1:04.8
 3.伊藤 進(愛游) 1:04.8
- 200自 1.大横田 勉(明大) 2:18.9
 2.志村 義久(稻泳會) 2:22.4
 3.服部己代治(岐商) 2:29.0
- 400自 1.石原田 愿(明大) 5:01.6
 2.堀 勝美(岐商) 5:01.6
 3.河合 辰雄(拓大) 5:18.2
- 1500自 1.石原田 愿(明大) 20:27.6
 2.堀 勝美(岐商) 20:28.6
 3.隈元 正賢(明大) 21:23.3
- 100背 1.河津憲太郎(明大) 1:13.0
 2.山田 薫(明大) 1:15.0
 3.河野 隼(明大) 1:16.0
- 200背 1.河津憲太郎(明大) 2:40.8
 2.山田 薫(明大) 2:43.0
 3.山田 鋼(岐商) 2:44.6
- 100平 1.奥藤 修(明大) 1:18.4
 2.中川 重雄(振甫) 1:19.0
 3.伊藤 三郎(明大) 1:21.8
- 200平 1.中川 重雄(振甫) 2:49.0
 2.奥藤 修(明大) 2:54.6
 3.伊藤 三郎(明大) 2:57.2
- 800リレー 1.明治大學(石原田、隈元、下平、大横田) 9:47.0 2.岐阜商業 10:25.4 3.小牧中學 11:07.3

女子競技

- 100自 1.小島 一枝(椛山) 1:15.8
 2.鹽見 梅子(椛山) 1:17.0
 3.渡部こまつ(淑徳)
- 200自 1.鹽見 梅子(椛山) 2:59.4
 2.渡部こまつ(淑徳) 3:03.6
 3.古閑 久子(中京) 3:09.0
- 400自 1.小島 一枝(椛山) 6:04.7
 2.古閑 久子(中京) 6:50.9
 3.木全美佐子(淑徳) 6:51.6
- 100背 1.小木曾治子(淑徳) 1:31.0
 2.北島 静子(椛山) 1:32.2
 3.時田 静子(淑徳) 1:36.2
- 200平 1.前畑 秀子(椛山) 3:07.0
 2.杉倉 愛子(椛山) 3:28.2
 3.浅井 品子(縣一女) 3:40.8
- 400リレー 1.椛山(小島、前畑、立松、鹽見) 5:27.1 2.淑徳 3.縣一女

男子飛板飛込 1.石川金繼(明大) 123.36
 2.奥田正勝(振甫) 94.36

男子高飛込 1.岩切盛行(明大) 98.90
 2.林慶二郎(明大) 85.82

水球 名古屋水協 5-4 七本松俱樂部

石川

石川縣體育協會主催 松任
 プール(50米) 8月2日 氣
 30° 水28°

- 100自 1.東 清(根上青) 1:16.8
 2.番 匠四郎(松農)
- 200自 1.伊藤 甚昌(紫錦台) 2:46.3
 2.四谷 喜孝(紫錦台)
 3.牛村 宏(櫻水會)
- 400自 1.伊藤 甚昌(紫錦台) 5:29.4
 2.安田久四郎(山商)
 3.清水 秀雄(伏木商)
- 1500自 1.二木 晋夫(小商) 24:38.7
 2.安田久四郎(小商)
- 100背 1.明文一(小商) 1:15.5
 2.徳田 文雄(三重高農)
 3.越村 果一(紫錦台)
- 200背 1.明文一(小商)
 2.徳田 文雄(三重高農)
- 100平 1.坂江 由夫(北陸水) 1:28.7
 2.林 正則(小商)
 3.塚本 利男(小商)
- 200平 1.大崎卯藤久(弦泳會) 3:01.5
 2.坂江 由夫(北陸水)
 3.喜多 喜由(松農)

800リレー 1.紫錦台クラブ 11:18.2

三重

三重水泳聯盟・津市體育會・
 伊勢新聞社主催 三重高農
 プール(25米) 8月1日 氣25° 水26°

男子競泳

- 100自 1.中山 重正(桑中) 1:07.6
 2.藤田 貞明(酒商) 1:09.0
 3.喜多 喜三(田丸) 1:10.4
- 200自 1.宇美 彌助(高農) 2:35.8
 2.服部 鶴一(桑中) 2:44.0
 3.松岡 達郎(富中) 2:46.6
- 400自 1.中山 重正(桑中) 5:31.0
 2.三井菊三郎(津中) 5:42.6
 3.古林 牧夫(高農) 5:55.6
- 100背 1.中西長兵衛(關大) 1:17.8
 2.藤村 守(津中) 1:20.4
 3.加藤 美好(津中) 1:25.0
- 200平 1.稻森 亮一(桑中) 3:14.2
 2.吉田 次郎(酒商) 3:14.8
 3.伊藤彦三郎(津中) 3:20.8
- 800リレー 1.三高農(安孫子、古林、又木、

宇美) 10:51.4 2.桑中 3.津中

女子競泳

- 100自 1.内山 郁子(酒高女) 1:32.0
 2.田中 芳子(市津女) 1:37.0
 3.水谷千代子(酒高女) 1:38.2
- 200自 1.内山 郁子(酒高女) 3:35.0
 2.田中 芳子(市津女) 3:40.4
 3.水谷千代子(酒高女) 3:42.2
- 100背 1.内山 郁子(酒高女) 1:48.4
 2.松本 橘枝(市津女) 1:56.2
 3.山崎 じづ(縣津女) 2:01.0
- 200平 1.坂口 てる(市津女) 4:00.2
 2.伊藤 貞子(市津女) 4:04.6
 3.宇野 文子(市津女) 4:17.2

兵庫

兵庫縣體育協會主催 神戸
 市民運動場プール(50米)

男子競泳 7月21日 氣 27° 水 24°

- 100自 1.向井 久男(二見青) 1:05.6
 2.入江 正男(弦泳會) 1:08.6
 3.藤井 清一(神港中) 1:22.0
- 200自 1.佐藤 征(弦泳會) 2:34.6
 2.向井 久男(二見青) 2:35.4
 3.入江 正男(弦泳會) 2:40.0
- 400自 1.西海 喜藏(二見青) 5:33.0
 2.佐藤 征(弦泳會) 5:39.8
 3.島田 壽明(弦泳會) 5:45.2
- 1500自 1.西海 喜藏(二見青) 22:24.6
 2.島田 壽明(弦泳會) 22:30.6
 3.島本 立二(神二中) 24:32.2
- 100背 1.角野 二郎(弦泳會) 1:17.0
 2.岩崎 義男(二見青) 1:24.0
 3.黒川 正敏(神一中) 1:25.2
- 200背 1.角野 二郎(弦泳會) 2:57.6
 2.谷川 惠庸(神二中) 3:11.0

カツパの秋 その二 **スギタ**



3. 饒村 吉久(湊泳會)
- 100平 1. 團 剛中(弦泳會) 1:23.4
2. 吉井 善一(弦泳會) 1:25.0
3. 上山 義穂(瀧川中) 1:25.0
- 200平 1. 林田 隆夫(瀧川中) 3:01.6
2. 吉井 善一(弦泳會) 3:02.8
3. 團 剛中(弦泳會) 3:16.0
- 800リレー 1. 武陽俱(1:14.4) 2. 湊泳會

女子競泳

- 100自 1. 和田 和子(縣一女) 1:24.4
2. 大西 静子(山手女) 1:25.8
3. 藤井惠美子(縣一女) 1:36.2
- 200自 1. 細見かつゑ(縣一女) 3:43.8
2. 辻 久子(女子商) 4:30.8
- 400自 1. 和田 和子(縣一女) 7:31.6
2. 大西 和子(山手女) 7:47.6
3. 細見かつゑ(縣一女) 7:59.0
- 100背 1. 水口惠美子(女子商) 1:57.2
2. 藤井壽美子(縣一女) 2:00.6
3. 毛利 陽子(縣一女) 2:11.0
- 200平 1. 久治 ソノ(女子商) 4:06.4
2. 瀬川智恵子(縣一女) 4:08.0
3. 林田富美子(女子商) 4:30.4
- 400リレー 1. 縣一女 (藤井, 中野, 細見, 和田) 4:53.4

水球

弦泳會 14—1 湊泳會

和歌山

和歌山縣體育協會主催 和歌山中學校プール(25米)

7月22日 氣36° 水30°

- 100自 1. 岡本 一男(和中) 1:05.5
2. 松藤修一郎(田中) 1:05.7
3. 上野山長治(耐中) 1:07.8
- 200自 1. 松藤修一郎(田中) 2:26.6
2. 兒島 高一(法泳會) 2:32.4

カツパの秋 その三 スキタロサンタロ

水泳日本
のミス
一九三五
年の學冠
はそれは
鬼が笑つて
からのこと



3. 上野山長治(耐中) 2:34.8
- 400自 1. 島本 信美(和商) 5:10.6
2. 田中 英作(田中) 5:15.0
3. 前川 重樹(三田水) 5:15.6
- 1500自 1. 島本 信美(和商) 21:20.0
2. 田中 英作(田中) 21:23.7
- 100背 1. 今井 源(和中) 1:16.2
2. 木下 豊(和商) 1:17.5
3. 山田 實(和中) 1:20.5
- 200背 1. 木下 豊(和商) 2:48.1
2. 山田 實(和中) 2:57.3
3. 青井 良也(和中) 2:59.4
- 100平 1. 川崎己代男(和商) 1:21.9
2. 上野山治夫(耐中) 1:25.5
3. 大橋 和夫(和中) 1:26.2
- 200平 1. 川崎己代男(和商) 2:56.2
2. 宮本 正男(和商) 2:57.1
3. 瀬良 陽介(和中) 2:59.3
- 800リレー 1. 和中(田淵, 岡本, 水原, 今井) 10:15.4

松江

松江體育協會主催 松江末次埋立地プール(50米) 8月

男子競泳

3日 氣30° 水23°

- 100自 1. 松浦新之助(大中) 1:04.6
2. 山崎 蔽(大中) 1:07.8
3. 泉 義明(大中) 1:08.0
- 200自 1. 松浦新之助(大中) 2:25.3
2. 泉 義明(大中) 2:36.8
3. 田村 武夫(濱中) 2:55.0
- 400自 1. 小西虎三郎(吳海兵) 5:26.3
2. 沖 吾七郎(大中) 5:37.2
3. 民部 年緒(松中) 5:53.4
- 1500自 1. 沖 吾七郎(大中) 22:05.5
2. 民部 年緒(松中) 22:59.4
3. 後藤 敏徳(大中) 24:30.0
- 100背 1. 月森善一郎(大中) 1:26.3
2. 西代 長一(松商) 1:27.5
3. 西田 眞(濱中) 1:28.0
- 200背 1. 月森善一郎(大中) 3:08.3
2. 西代 長一(松商) 3:11.0
3. 西田 眞(濱中) 3:16.0
- 100平 1. 榎 有(島工) 1:29.0
2. 中村 彰(大中) 1:31.0
3. 渡邊 彌市(島工) 1:32.0
- 200平 1. 榎 有(島工) 3:14.6
2. 泉 淳一(大中) 3:22.4
3. 中村 彰(大中) 3:27.8
- 800リレー 1. 大中(松浦, 山崎, 沖, 泉) 10:17.1 2. 松中 3. 濱中

女子競泳

- 100自 1. 森岡 恒子(松高女) 1:26.1
2. 石倉 雪子(松女) 1:31.0
3. 牛尾マツ代(濱女) 1:40.0
- 200自 1. 森岡 恒子(濱女) 3:11.9
2. 山根スミ子(松女) 3:34.0
3. 牛尾マツ代(濱女) 3:44.0
- 100背 1. 東地 紀子(松女) 1:49.2
2. 篠原 孝子(濱女) 1:50.8
3. 草光 薫(松女) 2:04.0

廣島

廣島縣教育會主催 廣島第二中學校プール(50米) 7月30

男子競泳

日氣 23° 水 25°

- 100自 1. 末田 政一(由興青) 1:08.6
2. 三宅 安信(尾道商) 1:13.6
- 200自 1. 三宅 安信(尾道商) 3:00.0
- 100背 1. 渡部卓一(三田水泳會) 1:25.2
- 200背 1. 渡部卓一(三田水泳會) 3:08.2
- 100平 1. 掛 義治(尾道商) 1:33.8
- 200平 1. 山田 弘(稻泳會) 3:04.0
2. 掛 義治(尾道商) 3:31.0

女子競泳

- 100自 1. 松重 靖子(柳井女) 1:33.0
- 400自 1. 川神 春子(柳井女) 8:08.6
- 100背 1. 岩田 静子(柳井女) 1:49.4
- 200平 1. 藤村 敏子(柳井女) 4:02.8

愛媛

愛媛縣體育協會主催 道後グランドプール(50米) 6月

24日 氣27° 水24°

- 100自 1. 白石 太郎(北中) 1:06.7
2. 魚住 鶴雄(松商) 1:07.6
3. 關谷幸之介(松中)
- 200自 1. 白石 太郎(北中) 2:39.8
2. 奥島經一郎(松中) 2:44.8
3. 野村 喬(師範)
- 400自 1. 兒玉 太郎(北中) 5:32.1
2. 北矢 保正(松中) 5:41.8
3. 友近 憲次(北中)
- 100背 1. 門屋 桂(北中) 1:16.4
2. 山本 龍男(高校) 1:21.2
3. 奥島經一郎(松中)
- 200平 1. 伊藤 正夫(師範) 3:08.8
2. 中村 良平(北中) 3:11.9
3. 濱田 夏夫(松中)
- 800リレー 1. 北中(兒玉, 友近, 門屋, 白石) 10:31.8 2. 高商 10:40.4
3. 松中 10:40.4

福岡

福岡水泳協會主催・大阪毎日新聞福岡支局後授 九州帝大プール(25米) 7月28日 氣30.5° 水28°

男子競泳

● 漫 録 集 ●

軒並みの商家もバタバタ店を終あうと言ふ夜更けの、道玄坂を、ガツチリした二人の壯漢が驛の方へ降りて行く、是こそ誰あらう、短距離界の雄日大の遊佐君と平泳の安永君、百軒店漫歩の歸るさ、フトとある商家を覗けば店の戸を半ば閉ざして今、仕事を終へたばかりの大番頭小僧が車座になつて腕相撲の最中、腕相撲と見ると遊佐君、矢も楯もたまらず、ズカズカと入こんで『ワシモー丁、行かせて貰えやせう。』居並ぶ番頭を片つ端からバタバタ薙倒して『や、どうも有難うゴワした』ハタハタ塵を拂つて、三谷の本據合宿へ引上げたとか。あの力強いストロークも此の絶倫な膂力よりこそ生れ出であらう。

京城のプール開きに出掛け歸路ブラブラ道草を喰つて七月八日頃東京に舞ひ戻つた阪上安太郎君極東後ずつと學校を休んで了つたので久し振りに學校出やうと思つてノートを抱へて學校へ出て見ると教室はガランとして誰一人居ない、そのうち小使さんが掃除に來たので、「今日は日曜でもないのにどうして誰もゐないのですか？」と聞いて見ると、小使さん呆れた顔をして「夏休になつたのを御存じないのですか」と言はれ初めてもう夏休だつたのに氣が付き「そうか、これからホントの休みだ。」

カツパの秋 その四 スギタ●サンタロ

「もう、すっかり色がはげちやつたわね」
「ウーン、水泳日本の恥だけど、
來年の夏まで仕方がないは、その代り來年こそは、がんばりませうね」



- 100自 1. 井上 茂(國學院) 1:01.7
2. 正木 敬造(星 泳) 1:03.4
3. 山村 武彦(松 濤)
- 200自 1. 森原 幸彦(日 大) 2:21.6
2. 中村 強輔(日 大) 2:22.3
3. 若林 忠光(松 濤)
- 400自 1. 森原 幸彦(日 大) 5:07.4
2. 栗原 徹(星 泳) 5:17.4
3. 中村 強輔(日 大)
- 1500自 1. 栗原 徹(星 泳) 21:52.6
2. 金子 豊(星 泳) 21:52.6
- 100背 1. 山本 茂樹(八 幡) 1:15.2
2. 伊藤 決(柳 泳) 1:15.6
3. 下村 雲平(星 泳)
- 200背 1. 山本 茂樹(八 幡) 2:45.9
2. 伊藤 決(柳 泳) 2:49.0
3. 下村 雲平(星 泳)
- 100平 1. 葉室 鐵夫(日 大) 1:15.5
2. 芳賀 忠房(八 幡) 1:24.9
3. 葉室 貞雄(福 商)
- 200平 1. 葉室 鐵夫(日 大) 2:44.4
2. 葉室 貞夫(福 商) 3:02.8
3. 芳賀 忠房(八 幡)
- 800リレー 1. 星泳會 (栗原、橋口、下村、金子) 10:28.4
- 女子競泳
- 100自 1. 川野 ふみ(筑 女) 1:23.8
2. 岩 きみ(久 女) 1:25.1
3. 大石智佐登(久 女)
- 200自 1. 佐藤たまき(久 女) 3:13.0
2. 小城みどり(久 女) 3:15.4
3. 久野安佐子(筑 女)
- 400自 1. 佐藤たまき(久 女) 6:50.0
2. 小城みどり(久 女) 7:09.6
3. 木村 ひさ(久 女)
- 100背 1. 小田あい子(筑 女) 1:33.3
2. 井手 敬子(久 女) 1:46.6
3. 新野 壽美(筑 女)
- 200平 1. 柳 瀨 靜(筑 女) 3:27.4
2. 金ヶ原俊子(筑 女) 3:44.8
3. 吉村 睦枝(筑 女)
- 400リレー 1. 久女 (大石、根井、金子、岩) 6:00.2
-
- 白杵體育協會主催・大阪毎日新聞關門支局後授 白杵中學プール (50米) 7月22日 氣31° 水30°
- 100自 1. 吉田 喜一(佐 中) 1:04.9
2. 峯 隆 茂(白 中) 1:05.1
3. 岡田 忠雄(佐 中) 1:07.5

- 200自 1. 川崎 貞直(白 商) 2:27.9
2. 峯 隆 茂(白 中) 2:27.9
3. 川野 錦城(白 商) 2:39.5
- 400自 1. 川崎 貞直(白 商) 5:19.5
2. 池田 定(佐 中) 5:21.9
3. 甲斐 孝(白 中) 5:35.1
- 100背 1. 吉田 喜一(佐 中) 1:14.4
2. 佐藤 哲男(白 商) 1:20.3
3. 菊地 寛(大 商) 1:22.7
- 200背 1. 吉田 喜一(佐 中) 2:47.7
200平 1. 小野 達郎(佐 中) 3:01.3
2. 徳本 嘉宏(宏 白) 3:09.6
3. 佐藤 鐵雄(白 商) 3:09.7
- 800リレー 1. 佐中 (岡田、池田、吉田、廣戸) 10:32.9 2 白商 10:43.2
3. 白中
-
- 熊本 熊本縣體育協會主催・九州日々新聞社後授 熊商プール(25米) 7月28日 氣32° 水25°
- 男子競泳
- 100自 1. 春日 良人(B. S.) 1:04.2
2. 池田 良喜(熊 商) 1:09.0
- 200自 1. 春日 良人(B. S.) 2:24.4
2. 坂本 覺三(熊 商) 2:43.2
- 400自 1. 滑石 信一(熊 商) 5:33.7
2. 岩見 格馬(八代中) 5:36.1
- 1500自 1. 岩見 格馬(八代中) 22:57.0
2. 坂本 覺三(熊 商) 23:06.6
- 100背 1. 下田 利弘(鹿本中) 1:16.7
- 200背 1. 下田 利弘(鹿本中) 2:47.5
2. 出井 基治(熊 商) 2:53.0
- 100平 1. 古莊 次平(稻泳會) 1:23.0
2. 清永 邦彦(熊 商) 1:26.0
3. 宮崎 龍一(熊 商) 1:26.5
- 200平 1. 古莊 次平(稻泳會) 2:55.8
2. 宮崎 龍一(熊 商) 2:57.7
- 800リレー 1. 熊商(滑石、出井、池田、春日) 10:30.7
- 女子競泳
- 100自 1. 森 さかゑ(中央女) 1:32.0
2. 田中しづ子(中央女) 1:36.0
3. 樋口ちとせ(一新校)
- 200自 1. 後藤すみ子(中央女) 3:18.2
2. 西村ふみ子(中央女) 3:35.0
- 400自 1. 後藤すみ子(中央女) 7:00.5
2. 西村ふみ子(中央女) 7:29.5
3. 田尻 輝子(市役所) 7:30.0
- 200平 1. 柿山 三壽(一新校) 4:02.2
- 400リレー 1. 中央高女 6:13.4
2. 新小學校
- 以上九月十五日迄報告到着の分——

全日本中等學校大會

東部大會7月28,29日神宮・西部大會7月28,29日大阪築港・東西優勝校爭霸戰8月5日・東西選抜對抗8月6日神宮

毎年時を同じくして東西に行はれる東部及西部中等學校大會とその東西對抗戦は質から言つても量から言つても世界的の大競技會であることは、その名を中等學校大會と言ふだけに驚異に値する。ロスアンゼルスで空前絶後の活躍をした人達も大部分此の競技會から巢立ちしたものであり、恐らく今年も來るべき伯林大會を約束される選手が多數含まれてゐるであらうと思ふとき、數多く行はれる競技會中此程重要な且つ興味多い會は全く無いと言へやう。

四つの大會を通じて看取される第一のことは、一般に昨年より記録が悪いことである、これは各リレーチームの記録を見ても明に看取されやう。もつとも、背泳の如きは、吉田、兒島の様な超等級が出て來たが、反對に平泳は昨年が目立つてよかつた爲に今年の不振が一層目につく。リレーは長短を通じて香しくなかつた様である。併し短距離の杉浦(見付中)中長距離の堀(岐商)寺田(見付中)等の擡頭は限りなく心強いものである。氣候の関係であらうが、東部大會の諸選手が一地方的であるに反し、西部は全く臺灣より愛知縣に至る迄平均に行き亘つて居ることは得點を見ても判然と分らう。

東 部 中 等 學 校 大 會

- 100自1. 新井 茂雄(濱松農蠶) 1:02.2
2. 杉浦 重雄(見付中學) 1:03.8
3. 蔭 島 理(沼津商業) 1:04.0
4. 大崎 定兼(日大中學) 1:04.8
5. 村田 匡夫(安房中學) 1:05.2
6. 須永 安治(日大工業) 1:05.8

- 200自1. 杉浦 重雄(見付中學) 2:20.2
(大會新)

3. 新井 茂雄(濱松農蠶) 2:22.4
3. 中村豊太郎(中泉農業) 2:25.4
4. 大崎 定兼(日大中學) 2:25.8
5. 平 野 茂(安房中學) 2:27.8
6. 市野 重治(佐渡中學) 2:31.0

- 400自1. 寺 田 登(見付中學) 4:58.8
2. 中村豊太郎(中泉農業) 5:19.6
3. 早川 正次(中泉農業) 5:23.4
4. 野中 武男(安房中學) 5:24.4
5. 庄司 義男(安房中學) 5:24.4
6. 那須田 清(中泉農業) 5:24.4

豫選の好記録 寺田 4:56.6 (大會新)

ラップタイム 1:07.8 2:24.0 3:41.2

那須田 5:19.8 中村 5:15.0

- 800自1. 寺 田 登(見付中學) 10:22.6
2. 那須田 清(中泉農業) 10:58.2
3. 早川 正次(中泉農業) 11:05.6
4. 野中 武男(安房中學) 11:16.4
5. 河原田 篤(慶應普通) 11:24.4
6. 伊藤 恭平(中泉農業) 11:28.6

寺田のラップタイム 1:08.2 2:25.4

3:44.6 5:04.4 6:23.8 7:44.8 9:09.6

- 豫選の好記録 那須田 10:55.2 早川 11:05.4 伊藤 11:15.0 野中

- 11:15.6 河原田 11:15.8

- 100背1. 鈴木 正士(東 高 尋) 1:18.6
2. 安田 正男(安房中學) 1:19.8
3. 小川 年男(茨城中學) 1:20.0
4. 綿引 誠人(茨城工業) 1:20.6
5. 富 部 進(見付中學) 1:21.6
6. 北原 直武(早稲田中) 1:21.9

豫選の好記録 鈴木 1:18.2 小川 1:19.6

- 200背1. 鈴木 正士(東 高 尋) 2:52.0
2. 小川 年男(茨城中學) 2:52.0
3. 鈴木 二郎(横濱商業) 3:00.2
4. 兼子 春男(中泉農業) 3:00.4
5. 北原 直武(早稲田中) 3:00.4
6. 遠藤三智男(安房中學) 3:00.8

豫選の好記録 兼子 2:57.0 富部 2:59.4

- 100平1. 川澄 仲三(沼津商業) 1:19.4
2. 加藤 孫平(見付中學) 1:22.2
3. 高 梨 朗(見付中學) 1:22.6
4. 錦 織 晋(安房中學) 1:22.6
5. 川島 諄介(神 商 工) 1:25.4
6. 鈴木 三郎(安房中學) 1:26.6

豫選の好記録 高梨 1:20.8

- 200平1. 川澄 仲三(沼津商業) 2:55.6
2. 錦 織 晋(安房中學) 3:01.4
3. 加藤 孫平(見付中學) 3:01.6
4. 高 梨 朗(見付中學) 3:02.0
5. 鈴木 三郎(安房中學) 3:07.8
6. 川島 諄介(神 商 工) 3:08.6

豫選の好記録 高梨 2:59.8

- 200リレー 1. 安房中學 1:55.4
(小高、藤平、村田、平野)

2. 見付中學 1:57.0

(寺田 高梨、大石、杉浦)

3. 静岡中學 2:00.0

(志波、佐藤 森 近藤)

4. 府立六中 2:01.6

(米久保、狭布里、須知、飯田)

5. 濱松一中 2:02.0

(天野、牧野、西崎、山下)

6. 日大工業 2:02.8

(須永、大西 坂本、門女)

豫選の好記録 見付中學(メンバー決勝と同じ) 1:56.2

府立六中(メンバー決勝と同じ)

1:59.8 日大工業(メンバー決勝と同じ) 2:01.8

- 800リレー 1. 見付中學 10:07.0

(杉浦、伊藤、大石、寺田)

2. 安房中學 10:13.0

(野中、庄司、小高、平野)

3. 中泉農業 10:13.2

(那須田、中村、伊藤、早川)

4. 日大工業 10:40.2

(須永、門井、大西、坂本)

5. 静岡中學 10:40.8

(志波、佐藤、森、近藤)

6. 千葉中學(山本、大河内、鈴木、河野)

得點 1. 見付中學56點 2. 安房中41點

3. 中泉農業31點 4. 沼津商業18點

5. 東高尋13點 6. 濱松農蠶12點

7. 茨城中10點 8. 日大中學及静岡中學6點

西 部 中 等 學 校 大 會

<p>100自1. 長谷川卯佐美(修道中) 1:01.2 2. 平野 亮(臺北一中) 1:02.8 3. 脇坂 一郎(高知商) 1:04.2 4. 高尾 龍實(臺北一中) 5. 前島 一郎(高知商) 6. 原田 圭造(門司中) 豫選の記録 脇坂 1:03.0 高尾 1:04.4 原田 1:04.6 壺田 1:04.6</p> <p>200自1. 長谷川卯佐美(修道中) 2:23.4 2. 壺田 重三(京實商) 2:23.8 3. 服部己代治(岐阜商) 2:23.8 4. 明神 泰吉(高知商) 5. 岩崎 寅雄(膳所中) 6. 松浦新之助(太田中) 豫選の記録 明神 2:26.6 松浦 2:26.8 岩崎 2:27.0 平野 2:27.6</p> <p>400自1. 北村久壽雄(高知商) 5:01.8 (大會新) 2. 堀 勝美(岐阜商) 5:05.0 3. 横山 清一(高知商) 5:14.0 4. 藤田 昇(修道中) 5. 谷脇 大六(高知商) 6. 寺石 延也(京一商) 北村のラップタイム 1:10.6 2:27.2 3:45.4 豫選の記録 谷脇 5:14.4 横山 5:13.0 寺石 5:17.2 菅沼 5:18.6 藤田 5:19.4</p> <p>800自 北村久壽雄(高知商) 10:30.6 2. 堀 勝美(岐阜商) 10:37.4 3. 横山 清一(高知商) 10:54.4 4. 小笠原三郎(高知商) 5. 寺石 延也(京一商) 6. 抱 勝(茨木中) 豫選の記録 北村 10:30.4 横山 10:48.8 抱 10:57.2 小笠原 10:59.2</p> <p>100背1. 兒島 泰彦(修道中) 1:12.8</p>	<p>(中等新) 2. 吉田 喜一(佐伯中) 1:13.0 (中等新) 3. 門屋 桂(北豫中) 1:15.6 4. 山田 鋼(岐阜商) 5. 今井 源(和歌中) 6. 宮田 大鳳(小牧中) 豫選の記録 吉田 1:13.6 兒島 1:13.8 熊野 1:17.2 宮田 1:17.6 今井 1:18.0 山田 1:18.2</p> <p>200背1. 吉田 喜一(佐伯中) 2:40.2 2. 兒島 泰彦(修道中) 2:44.2 3. 山田 鋼(岐阜商) 2:46.6 4. 門屋 桂(北豫中) 5. 宮田 大鳳(小牧中) 6. 今井 源(和歌中) 豫選の記録 吉田 2:39.6 門屋 2:47.2 宮田 2:48.4</p> <p>300平1. 野口 安造(京一中) 1:22.2 2. 小野 達郎(佐伯中) 1:23.6 3. 久富 元次(關學中) 1:24.0 4. 中澤 次郎(臺北一中) 5. 井上 正平(膳所中) 6. 伊藤喜代志(名二商) 豫選の記録 小野 1:22.4 久富 1:23.2 伊藤 1:23.4 井上 1:23.4 中澤 1:23.6</p> <p>200平1. 伊藤喜代志(名二商) 3:00.2 2. 林田 陸夫(瀧川中) 3:01.8 3. 宮本 正男(和歌商) 3:03.0 4. 菅野 義忠(門司商) 5. 川崎己代男(和歌商) 6. 瀬良 陽介(和歌中) 豫選の記録 瀬良 3:01.8 林田 3:03.8 川崎 3:04.2 野口 3:04.4</p> <p>200リレー 1. 臺北一中 1:54.0(大會新)</p>	<p>(平野、大塚 矢住、高尾) 2. 修道中學 1:55.8 (菅廣、兒島、藤田、長谷川) 3. 廣島一中 1:56.8 (山口、熊野、天野、三宅) 4. 高知 商業(脇坂、北村、谷中、前島) 5. 山口師範(工藤、有田、八幡、永久) 6. 茨木中學(宮田、抱、田所、庄田) 豫選の記録 臺北一中(平野、大塚、矢住、高尾) 1:53.6(中等新) 高知商業(脇坂、立田、谷中、前島) 1:56.4</p> <p>800リレー 1. 高知商業 9:45.4 (横山、前島、明神、北村) 2. 修道中學 9:58.4 (菅廣、兒島、藤田、長谷川) 3. 岐阜商業 9:58.6 (服部、淺野、野口弘、堀) 4. 臺北一中(大塚、高尾、大本、平野) 5. 京都二商(岩田、藤田、公文代、川崎) 6. 山口師範(工藤、有田、永久、河田) 豫選の記録 高知商業(横山、明神、谷脇、北村) 9:41.4 各校得點 高知商業46 臺北一中21 修道中學39 佐伯中學17 岐阜商業25</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

東 西 優 勝 校 爭 覇 戰

東部優勝校見付中學對西部代表高知商業の爭覇戰は8月5日午後5時30分より神宮プールに於て舉行、兩校の勢力伯仲し抜きつ抜かれつの大接戦を演じたが自由形に超中等學校級を有する高知商業が兩リレーを物にして結局84對80で見付中學を破つて全國に覇を唱へることになった。

此の大會では高知の宿將北村が最近急激の進歩を見せた見付の寺田と何う組むか、非常に見物だったが、寺田は東部大會當時の泳法が稍亂れて元氣なく、800では始めより北村にリードされ20米の差で敗れてしまった。平泳は豫想通り見付が全勝したが100背泳で高知明神が意外に活躍した爲に、思はず所で見付は損をしてしまった。併し自由形に關する限り北村を筆頭に横山、前島、脇坂、明神、谷脇、小笠原と揃へた高知軍は、お世辭拔きの日本一である。

高知の横山前島は西部大會に引續いて不振だったが脇坂が短距離で奮闘し見付の雄杉浦を苦しめたのは偉い。それにしても高知は平泳背泳に人なく自由形の谷中、明神を使はなければならなかつたのは中等學校としては寧ろ當り前かも知れないが

由形に人が揃ひ過ぎてゐるだけに、片チンパなチームの誇りは免れない。最後に此の日スタンドで観戦して居た米國のキツバス監督が高知商業800米リレーの記録に驚いて居たことをお傳へしておく。

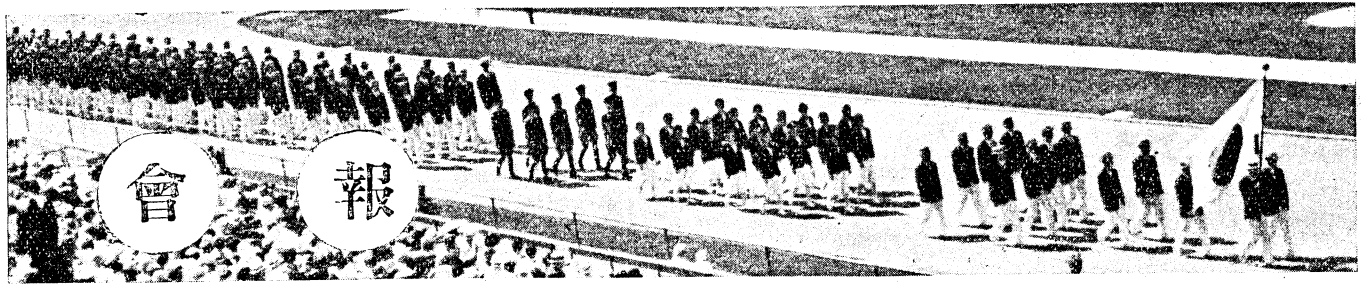
競技成績

100自1. 杉浦 重雄 (見付) 1:02.2	5. 熊谷 行雄 (見付)	2. 加藤 孫平 (見付) 1:22.6
2. 脇坂 一郎 (高知) 1:02.4	6. 山城 研之 (見付)	3. 加藤 太平 (見付) 1:26.0
3. 前島 一郎 (高知) 1:04.0	ラツプタイム 北村 1:10.8 2:29.2 3:47.4	4. 立田 浩一 (高知)
4. 谷中 繁春 (高知)	5:05.8 6:25.0 7:05.4 9:05.4 10:23.4	5. 吉村 忠雄 (高知)
5. 伊藤 猛 (見付)	寺田 1:10.8 2:29.2 3:49.4 5:10.0	6. 谷中 繁春 (高知)
6. 大石 忠雄 (見付)	6:31.2 7:53.4 9:16.4 10:56.8	200平1. 高梨 朗 (見付) 2:59.2
400自1. 北村久壽雄 (高知) 4:55.4	100背1. 吉本 正 (高知) 1:19.2	2. 加藤 孫平 (見付) 2:59.4
2. 寺田 登 (見付) 5:01.8	2. 明神 泰吉 (高知) 1:21.4	3. 加藤 太平 (見付)
3. 杉浦 重雄 (見付) 5:04.6	3. 富部 進 (見付) 1:22.0	4. 吉村 忠雄 (高知)
4. 横山 清一 (高知)	4. 中村 哲一 (見付)	5. 立田 浩一 (高知)
5. 谷脇 大六 (高知)	5. 楓 隆吉 (高知)	6. 脇坂 一郎 (高知)
6. 伊藤 猛 (見付)	6. 寺田益次郎 (見付)	200リレー 1. 高知商業 (脇坂、明神、 谷中、前島) 1:54.0
ラツプタイム 1:06.0 (寺田) 2:22.8 (北村)	200背1. 吉本 正 (高知) 2:54.0	2. 見付中學(寺田登、高梨、伊藤、 杉浦) 1:56.2
3:39.0 (北村)	2. 寺田益次郎 (見付) 3:02.0	800リレー 1. 高知商業 (横山、前島、 明神、北村) 9:38.0
800自1. 北村久壽雄 (高知) 10:23.4	3. 富部 進 (見付) 3:02.2	2. 見付中學(寺田登、伊藤、富部、 杉浦) 9:59.6
2. 寺田 登 (見付) 10:36.8	4. 中村 哲一 (見付)	
3. 横山 清一 (高知) 10:57.0	5. 楓 隆吉 (高知)	
4. 小笠原三郎 (高知)	6. 明神 泰吉 (高知)	
	100平1. 高梨 朗 (見付) 1:21.6	

東 西 選 抜 對 抗 戦

選抜對抗は優勝校争覇に引續いて6日午後5時30分より舉行、日本の三大水上競技の一つとして世界に誇り得る戦績を残してくれた。此の大會は來るべき伯林大會を約束される多數の選手を含む爲、或る意味に於ては日本選手権以上のものであり、何時も乍ら彗星の如く飛び出てくる選手に此の上もない興味を感じるのである。此の大會で短距離の杉浦中長距離の堀、背泳の兒島、平泳の川澄等の新進がインターカレッジにも優る活躍を見せ我々に限りなき安心を與へてくれたのである。

100自1. 新井 茂雄 (東) 1:01.8	800自1. 北村久壽雄 (西) 10:14.8	100平1. 野口 安造 (西) 1:20.0
2. 長谷川卯佐美 (西) 1:02.4	2. 寺田 登 (東) 10:19.8	2. 川澄 仲三 (東) 1:21.2
3. 陸島 理 (東) 1:02.6	3. 堀 勝美 (西) 10:20.2	3. 小野 達郎 (西) 1:21.8
4. 脇坂 一郎 (西) 1:03.2	4. 那須田 清 (東) 10:45.8	4. 久富 之次 (西) 1:22.0
5. 杉浦 重雄 (東)	5. 横山 清一 (西)	5. 錦織 晋 (東)
6. 平野 亮 (西)	6. 野中 武男 (東)	6. 高梨 朗 (東)
200自1. 杉浦 重雄 (東) 2:19.0	ラツプタイム 1:09.4 (横山) 2:28.2	200平1. 川澄 仲三 (東) 2:55.4
2. 新井 茂雄 (東) 2:21.6	(北村以下同人) 3:46.2 5:05.4	2. 高梨 朗 (東) 2:58.4
3. 中村豊太郎 (東) 2:22.2	6:23.6 7:41.2 8:58.3	3. 伊藤喜代志 (西) 2:59.0
4. 服部己代治 (西) 2:22.4	100背1. 吉田 喜一 (西) 1:12.6	4. 錦織 晋 (東) 2:59.0
5. 壺田 重三 (西)	(中等新)	5. 林田 陸夫 (西)
6. 長谷川卯佐美 (西)	2. 兒島 泰彦 (西) 1:14.5	6. 宮本 正男 (西)
400自1. 北村久壽雄 (西) 4:54.4	3. 門屋 桂 (西) 1:16.4	200リレー 1. 西部チーム(平野、高尾 脇坂、長谷川) 1:50.0
(中等新)	4. 鈴木 正士 (東) 1:18.4	2. 東部チーム(新井、杉浦、大崎、蔭 島) 1:52.6
2. 堀 勝美 (西) 4:54.8	5. 小川 年男 (東)	800リレー同着 9:27.0
(中等新)	6. 安田 正男 (東)	東部 (杉浦、新井、中村、寺田)
3. 寺田 登 (東) 4:57.8	200背1. 吉田 喜一 (西) 2:38.6	西部 (横山、服部、堀、北村)
4. 中村豊太郎 (東) 5:08.0	2. 兒島 泰彦 (西) 2:44.0	得點 西部 102.5點
5. 横山 清一 (西)	3. 山田 鋼 (西) 2:44.2	東部 83.5點
6. 早川 正次 (東)	4. 小川 年男 (東) 2:49.2	(共道記)
北村ラツプタイム 1:08.6 2:24.4 3:40.6	5. 鈴木 正士 (東)	
寺田のラツプタイム 1:07.4 2:23.8 3:40.4	6. 安田 正男 (東)	



昭和九年度定例代議員會議事録

昭和九年度の定例代表議員會は今年も亦選手權大會の第二日を期して東京市麹町區丸ビル精養軒に午餐會を兼ねて召集せられた。定刻午前十一時には點呼を終了直に諸報告から始め、一旦午餐の爲に休憩し午後は議事に入つて、諸案を議了し、午後三時閉會した。昨年に比較して加盟團體の出席率のよかつたのは何よりもよい事であつたと思ふ。

出席者 四十七名。出席加盟團體、二四。(含委任狀) 缺席加盟團體、八。(石川縣體育協會、松江體育協會、愛媛縣體育協會、臼杵體育協會、台灣體育協會、朝鮮體育協會、岡山縣體育協會、香川縣體育協會) **聯盟本部**。會長 末弘殿太郎、名譽主事 松澤一鶴、名譽會計 奥野良、評議員 小林榮三、野村憲夫、本井功、堀江耕造、顧問 飯田光太郎、杉本傳、田畑政治、**専門部委員主任** 野田一雄(競泳) 島崎保正(飛込) 吉本祐一(水球) 小林三三(標準) 安部輝太郎(外國關係) 渡邊寛二郎(記録) 鶴岡英吉(編輯) **代議員**、松浦武雄(北海道水上競技聯盟) 樋口俊雄、阪川寧(宮城水泳協會) 小林三三(茨城縣體育協會) 松木鐵太郎、伊藤匡(千葉縣水泳聯盟) 松澤一鶴、中村豊、西本龍三(關東水泳協會) 白山源三郎、岡田辰雄、外川正(横濱水泳協會) 酒井由郎(新潟水上競技聯盟) 川口又男(靜浦游泳協會) 牧野敏一、中村豊、野田一雄(濱名灣游泳協會) 服部崎市(名古屋體育協會) 高橋庄之助(野尻湖游泳協會) 岡部政藏(三重水泳聯盟) 深山杲、松本治一、木村象雷(京都水上競技聯盟) 藤田明、齋藤崑洋(大阪體育協會) 根來幸成(和歌山縣體育協會) 大横田勉(廣島縣教育會) 鶴岡英吉(高知縣體育協會) 安永弘、田中幸生(福岡水泳協會) 馬渡勇喜(長崎縣水泳協會) 秋吉十九夫(熊本縣體育協會) 宮畑虎彦(滿洲體育協會) 全權委任(岩手水泳協會、福島縣體育協會、富山縣體育協會、兵庫縣體育協會) 林忠雄、根來幸成、大横田勉、安永弘(全國學生水上競技聯盟)

配布書類、昭和八年度事業概況及會計報告、昭和十年度事業豫定及會計豫算案、昭和八年度代議員會議事録。(本誌第二十號)

- 1 開會、午前十一時二十五分。
- 2 前回議事録確認 雜誌「水泳」第二十號所載の昨年度定例代議員會議事録は全會一致を以つて可決、確認された。
- 3 會務報告 昭和八年度本聯盟の實施せる事業の概況

に就ては下記の通り要約プリントして配布した。

一 諸競技會

日本選手權大會 8月12.13.14日 神宮プール
 三地方對抗女子大會 9月3日 振甫プール、
 明治神宮體育大會水上競技大會 9月31日—10月1日 神宮プール
 極東選手權大會豫選會 9年4月15日 甲子園プール

二 諸記録發表。

世界記録申請及公認發表せるもの。
 牧野正藏(800米自由形、400米自由形、1000米自由形)
 北村久壽男(1000米自由形) 清川正二(400米背泳)
 河津憲太郎(400米背泳) 前畑秀子(200米平泳、400米平泳、500米平泳)
 日本新記録發表
 昭和八年度ベスト・テン發表
 日本最高記録發表(9年1月1日)

三 諸會議(雜誌「水泳」各號會報欄参照の事)

定例代議員會 (1回)	同在京代議員會 (1回)
理事會 (12回)	常務理事會 (14回)
競泳競技委員會 (6回)	水球競技委員會 (7回)
飛込競技委員會 (3回)	競技委員會(綜合)(1回)
女子部委員會 (1回)	標準泳法委員會 (9回)
記録委員會 (3回)	編輯委員會 (9回)
警事部委員會 (2回)	小學校委員會 (6回)
水泳史研究會 (8回)	計 84回

四 講習會

水泳指導者講習會(7月1日より10日迄、於東京市四谷區慶應病院講堂及神宮プール) 指導要項及實施指導者資格檢定試験

五 各地プール公認の爲測定員の派遣

六 地方團體主催の水泳講習會に講師派遣

七 松澤主事 フィルム・コーチ及巡回講演 8月22日より松本地方へ、11月7日より北海道地方へ

八 刊行物

水上競技規程(三省堂發行) 水泳指導要項(目黒書店發行) 機關雜誌「水泳」發行(2.4.6.7.8.9.10.12月)

九 極東選手權大會に對して選手派遣並その準備講演會、座談會等

十 極東大會出場選手合宿練習

4月16日より甲子園に於て

十一 昭和八年度に公認せるプール(何れも甲種)

- 第18號 寶塚新温泉プール
- 第19號 東京市立第一中學校プール
- 第20號 甲子園室内プール
- 第21號 甲子園濱プール
- 第22號 京都府立第二高等女學校プール
- 第23號 三重高等農林學校プール
- 第24號 大阪商科大学プール
- 第25號 立教大學プール
- 第26號 名古屋市振甫遊泳場
- 第27號 石川縣松任競泳地
- 第28號 栗林公園プール
- 第29號 廣島第二中學校プール

4 昭和八年度會計報告 奥野名譽會計より説明あり。報告原案より競技會費として別勘定になし得るものは極力整理する様訂正すべしとの意見を容れ次の如くに一致承認せられた。猶名譽會計より昭和八年度の會計は明治神宮體育大會の會計を含んで居る爲に收支共に平常より増加せる事殊に奨勵費、借入金を支拂ひ等の特別なる支拂が多くなつて居る事を指摘注意する所があつた。日本運動競技聯合に對する立替金は同聯合成立の際には返済せらるべきなる事田畑顧問より説明があつた。

昭和八年度決算報告(8年5月より9年4月迄)

収入之部

- 第1項 經常收入 2,197.91
 - 第1目 文部省補助金 450.00 第2目 加盟分擔金750.00
 - 第3目 銀行豫金利子 26.66 第4目 前期繰越金 971.25
 - 第2項 臨時收入 27,724.47
 - 第1目 秩父宮・朝香宮・竹田宮三殿下御下賜金 35.00
 - 第2目 選手權大會關東ヨリ納入金 7,069.68 第3目 寄附金(關東ヨリ選手權大會收入)14,139.34
 - 第4目 神宮大會ニ付受入3,520.15 第5目 指定席收入(隔年)1,260.00
 - 第6目 雜誌講讀料 509.98 第7目 指導者講習會 854.10
 - 第8目 映寫謝禮 110.00 第9目 極東豫選申込金(甲子園) 52.00
 - 第10目 雜收入 44.22 第11目 未收入繰越金 130.00
- (加盟金未收ノ分)京都 50.00 岩手 40.00 山形 20.00 福島 20.00
- 合計 29,922.38

支出之部

- 第1項 經常費 13,500.22
 - 第1目 體育協會加盟金 100.00 第2目 國際水上競技聯盟加盟金 206.92 (7.8年度 750佛 @4.70 159.57 オリンピックフアンド \$12.50 @26.5 46.95 手数料0.40)
 - 第3目 事務所費1,315.86 室代1,029.67 電話料136.29 什器149.90 第4目 競技用器具備品費 2,518.11 第5目 通信費 949.61 第6目 印刷費 3,693.83 第7目 文具消耗品費

- 312.57 第8目 車馬費 616.86 第9目 代議員會費 485.32 (内330.40辨當代) 第10目 理事會費 477.85 第11目 競技會費 923.85 第12目 競技會人夫賃 833.70 第13目 給料 758.00 第14目 雜費 307.74

第2項 事業費

6,151.20

- 第1目 講習會 877.16 第2目 映寫費 1,099.08 第3目 選手權大會プール使用料 1,999.65(練習用共 121.00) 第4目 奨勵費 2,174.80

第3項 雜

10,270.87

- 第1目 借入金返済(學聯へ 2,800.00 關東へ370.00)
- 第2目 立替金 (A.日本運動競技聯合へ 684.00 B.學生聯盟へ 666.75 C. 關東水泳協會へ 770.90) 第3目 臨時費(オリンピック費殘部及寄附金)101.85 第4目 未收入繰越金 130.00 第5目 次期繰越金 4,747.37

計 29,922.38

借入金勘定

- 借入金繰越 6,127.28
 - 學聯ヨリ 5,557.28 關東ヨリ 570.00
- 借入金返済 3,170.00
 - 學聯へ 2,800.00 關東へ 370.00
- 借入金繰越 2,957.28

雜誌「水泳」勘定

収入之部

- 雜誌講讀料 (1部30錢)509.98 補助 1,310.26

支出之部

- 振替拂出及寫眞代袋代 22.24 雜誌印刷費 1,700.00 切手費ノ他 98.00

水泳講習會勘定

収入之部

877.16

- 講習料(本代1部ヲ含ム)854.10 補助23.06

支出之部

- プール使用料 124.00 人夫代 52.40 講師車馬費及謝禮 174.95 印刷費(速記ヲ含ム)52.00 食費236.51 設備費 9.72 切手及雜費 26.62 指導要項印稅差引目黒書店拂 200.96

計 877.16

5 昭和十年度事業豫定の件

一 競技會

- 日本選手權大會(競泳、飛込、水球)
- 第十一回オリンピック大會第一次豫選會
- 日米對抗水上競技會

二 諸記録發表(細項省略)

三 諸會議(細項省略)

四 講習會及指導者檢定

五 プール測定員派遣

六 水泳講習、講演會に講師派遣

七 巡回コーチ及フィルム・コーチ

八 刊行物

九 第十一回國際オリンピック大會に對する事業

調査研究
合宿練習

6 昭和十年度會計豫算案 奥野名譽會計より提出説明あり、田畑顧問、深山氏より選手保健に關する醫事費、及藤田明氏より東西對抗水球競技會開催費の追加要求、論議の後可決、下記の如く決定した。尙會長よりオリンピックに對する準備事業として、合宿等を行はなければならないが此と日米對抗競技會(豫算五萬圓)は方針決定後臨時代議員會を開催して別途會計として舉行すべしとの意見あり、原案の如く可決されたが、安部外國關係委員よりかかる事業に備へる爲基金募集しては如何との提案あつたが、時機尙早として否決された。

昭和十年度會計豫算(10年5月より11年4月迄)

收入之部

第1項 經常收入	1,710.00
第1目 文部省補助金	600.00
第2目 加盟分擔金	1,110.00
Aクラス(6)	300.00
Bクラス(27)	810.00
第3目 前期繰越金	
第2項 事業收入	
第1目 雜誌講讀料(1部30錢、年8回發行、200部)	480.00
第2目 競技會收入(最少限度豫定)	18,120.00
計	20,310.00

支出之部

第1項 經常支出	9,006.00
第1目 加盟金	180.00
「體育協會	100.00
FINA	375.00
佛(約80圓)	
第2目 事務所費	2,480.00
借室代	1,080.00
電話料	200.00
什器	200.00
人件費	1,000.00
第3目 事業費	2,700.00
通信費	800.00
印刷費	1,500.00
文具消耗品費	400.00
第4目 會合費	1,400.00
代議員會(年一回各團體二名以上、在京代議員會一回)	200.00
常務及理事會月3回以上)	300.00
各部競技委員會(各部月一回以上)	900.00
第5目 競技用品費	1,200.00
飛込用具	900.00
水球用具	200.00
競泳用具	100.00
第6目 車馬費	500.00
第7目 醫事費	100.00
第8目 各部豫備費	600.00
第2項 事業費補助	2,850.00
第1目 講習會	100.00
第2目 雜誌水泳發行	800.00
第3目 獎勵費	500.00
第4目 地方巡回コーチ(補)	50.00
第5目 調査費	300.00
圖書費	100.00
アマター登録調査	200.00
第6目 選手權大會準備費	500.00
第7目 小學校兒童水泳獎勵費	150.00
第8目 水球東西對抗補助費	300.00
第3項 日米對抗水上競技準備費	1,000.00
第4項 積立金(オリムピック)	5,000.00
第5項 借入金返済	2,000.00
計	20,310.00

但シ日米對抗水上競技會及第11回オリムピック事業ニ就テハ別途會計ニスル事。以上

7 昭和十年度諸競技會豫定 松澤主事より説明、大略下

記の如く決定された。

日本選手權地方豫選	7月31日迄
オリンピック第一次豫選兼昭和九年度日本選手權大會	8月10日—12日
日米對抗競技大會	8月17日—19日
全國中等學校大會	
東部、西部豫選會	8月24日—25日
東西對抗競技會	8月31日—9月1日
オリンピック第二次豫選兼明治神宮體育大會	10月11日—13日

尙諸競技會に對する本聯盟の方針は次の通り決定した。日米對抗競技會を開催する事能はざる場合には日米對抗の折まで選手權大會を繰下げる事。

オリンピック選手候補者は、第一次、第二次の兩次豫選を通じて考慮す、即寒冷期に對する考慮をも拂ふものとする、かくして選抜された候補者には可及積極的に冬季合宿を実施する様努力する。

昭和十一年度始めに第三次豫選を行つて更に殘されたる選手を拾ひ、最終豫選會を昭和十一年六月頃行つて正選手を決定する。

8 日米對抗競技會に關する件 概略方針を次の如く決定した。

具體案作製及競技會實施準備の爲に準備委員會若くは競技委員會を任命する、任命は理事會に一任。

大體招聘する米國選手は約15名とし、出來得ればエキジビションとして飛込選手1名を加へたし。

豫算は下記の如く膨大なるものとなるべく、競技會收入約三萬圓の外にどうしても寄附二萬圓を仰ぐ必要ありと見られ その爲には成べく早くより寄附募集の猛運動を起す事、尙地方へ選手をやる場合には地方よりも補助せしむる事。

米國選手招聘費	45,000.00
日本選手費	2,000.00
プール使用料	5,000.00
競技會費	3,000.00
計	55,000.00
地方遠征費	8,000.00

9 役員改選の件 本年は名譽會計、及理事の改選期となつて居るのであるが、田畑顧問よりベルリン・オリンピックの爲に會長、名譽主事と同様に全部現状のまま留任すべしとの動議あり、満場一致賛成せられた、各部委員主任の缺員に對しては理事會が決定する事となつた。

10 巡回コーチに關する件 末弘會長より今年始めて聯盟直轄にて巡回コーチを實施したる結果につき報告、地方加盟團體の考へ違ひの爲頗る遺憾な結果となりたる旨を述べられた、地方加盟團體に於て今尙有名なる選手即有爲なるコーチと云ふ思想を持つて居る爲に、本聯盟に於て技術的に信頼出来る人達に依りコーチ團を組織して巡回行程案を作るべく各地へ問合せ等をなしたるも間際になつてから變

編 輯 後 記

更を申出され、計劃が根柢から破壊されたのである、此事ばかりでなく地方に於ける水泳の開發の事業に關しては本部の方の考をよく了解して今後は意志の疎通を計り充分なる効果を擧げん事を望むと、尙本件に關しては各加盟團體へ書狀にて一層諒解を得る様にする事。

11 加盟團體の件 奥野會計より加盟分擔金未納の團體より夫々事情報告せる所あり。昨年度は此等團體に對しては不問に附し、今年度會計に於て事務的に處理する豫定であると述べた。

従來の加盟團體であつた京都體育協會は京都水上競技聯盟と改稱し、同時に組織を改めたる事に對しては滿場一致承認、繼續して本聯盟加盟團體となつた、滿洲體育協會より今後同地方の水上競技の統轄に關しては南滿洲水泳協會が擔當する事となつたが、加盟名義は従前通りである事報告、本年度新加盟團體なし。

12 中等學校大會の件 濱名灣游泳協會より提案あり『學生聯盟主催の中等學校大會への出場校は必ず地方加盟團體に加盟せる學校チームなる事』の條項を學生聯盟規則中に挿入する様日本水上聯盟より交渉されたき件に關しては、濱名地方には加盟せる中等學校とせざるものとありて統轄上種々なる困難を生ずる旨の説明もあつたが、事は學生聯盟との交渉が大部分なる爲に理事會附托として審議する事となつた。

13 少年記録に關する件「少年の年齢別による日本記録を制定されたき件」少年の日本選手權大會開催が不可能なる場合は地方少年大會に於ける優秀記録を出せる者に對し獎勵の意味を以て聯盟特製の賞牌を寄贈され度件」以上二件何れも濱名灣游泳協會提出、此に對し渡邊記録委員長主任より少年記録に對する原案の説明あり、討論の末、兒童に對して水泳は獎勵すべきも、競技を強制する様な態度は慎しむべきであるとなし、尙且年齢別、或は學年別の記録制定は手續煩雜すぎるとの意見で、小學兒童の記録は尋常科、高等科(何れも男女)の二種類のみとし種目は記録委員の原案に従ひ記録委員會で然るべく決定、今年度の記録より發表の事と決定した。

14 選手權大會に對する希望 杉本顧問より、競泳、飛込、水球の三選手權を別個に開催するのもよいが、地方役員が見るには不便あり、同日、或は連續して開催しては如何との希望ありたるに對し、鳥崎飛込委員長主任よりは競泳と同時に開催可能なる旨、又吉本水球主任よりは競技會の選手の関係上不能なる旨、夫々意見を述べたが、何れにしる今年の大會終了後よく各部競技委員會に於て研究すべき事となつた。

以上にて代議員會を終り、尙プール公認の方法に就ての質疑に對する解答、田畑顧問より極東大會會議に關する報告、東洋體育協會の將來に對する意見交換等を行つて午後三時頃散會した。

以 上

季節の移變りには割合無關心な河童にも、日毎に白い漣を立て、プールの面を吹きめぐる秋風には、ただ何んとなく心の中まで吹き通され様な、泌みじみとした秋を感じないではゐられない。

インターカレッジを最後に、賑やかに慌しかつた今夏シーズンも幕を閉ぢる一抹の寂しさと、ベルリン大會も近く來年こそはと言ふ希望とを、ゴツチャにした哀愁とも興奮とも付かぬ一種の感慨は、吾々水泳人のみに持つ「秋の感傷」とでも言ふべきであらう。

世は已に讀書の秋、極東後息もつがせず打續けられた競技會の報告、批判或は研究を「今度は吾々の番だ」と編輯者は張切つた氣持で、本號を選手權大會號、次號をインターカレッジ號と號を追ふて讀者諸子に報告するに萬全を期してゐる次第である。

本號を選手權大會號とした爲に研究その付の玉稿を次號に廻すの餘儀なくされた事を執筆諸子に御詫して置く。ただ本號に就いて何如にも残念だつた事は會報の代議員會議事録を受持された松澤主事が御家族の關西地方颱風災禍に逢はれた爲め執筆が遅れて、他の部は全部出來上り乍ら其の爲めに殆ど一ヶ月も發刊の遅延した事は天災とは申し乍ら讀者に申譯ない事と松澤主事に代つてお詫びしなければならぬ。

前號及び本號の表紙は圖案家池田木一氏の御厚意により本誌に相應しい立派な物を寄せて載せ、同氏の御厚意に對し深く謝意を示す次第である。

本號擔當者 柴 田 隆 二

日本水上競技聯盟機關雜誌 水 泳 第二十六號

定 價 三 十 錢 一年八回發行

豫約申込者に限り頒布す (一年前金豫約は送料不要)

廣 告 料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和九年十月二十二日納本

昭和九年十月二十三日發行

編輯兼發行人 鶴 岡 英 吉

(日本水上競技聯盟代表)

印 刷 者 君 島 潔

印 刷 所 共同印刷株式會社

東京市小石川區久堅町一〇八

發 行 並 東京市麴町區丸ビル 805
申 込 所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替貯金東京三九九一九番